

クロスロード

5



特集

語学力向上のコツ

派遣国の横顔 ～フィリピン～



現在の派遣国数

64 カ国



JICA海外協力隊 派遣現況

(2021年3月末現在、単位：人)

■ アフリカ地域

国名	一般	シニア
ウガンダ	2	
エチオピア	2	
ガーナ	12	
ガボン	2	
ケニア	8	
ザンビア	9	1
ジブチ	1	
ジンバブエ	5	
セネガル	9	
タンザニア	6	1
ナミビア	1	
ベナン	2	
ボツワナ	2	
マダガスカル	2	
南アフリカ共和国	1	
モザンビーク	6	
ルワンダ	9	

■ アジア地域

国名	一般	シニア
インド	7	
インドネシア	1	
ウズベキスタン	6	1
カンボジア	4	
キルギス	3	
タイ	3	
中華人民共和国	3	
ネパール	8	1
東ティモール	4	
フィリピン	5	
ブータン	1	1
ベトナム	8	
マレーシア		3
ミャンマー	1	
モルディブ	2	
モンゴル	1	
ラオス	8	

■ 大洋州地域

国名	一般	シニア
キリバス	1	
サモア	1	
ソロモン	4	
トンガ	3	
バヌアツ	7	
バプアニューギニア	3	
パラオ	3	
フィジー	3	
マーシャル	1	
ミクロネシア	4	

■ 欧州地域

国名	一般	シニア
セルビア	1	

■ 中東地域

国名	一般	シニア
チュニジア	2	
モロッコ	1	
ヨルダン	1	

■ 中南米地域

国名	一般	シニア	日系一般	日系シニア
アルゼンチン		9		
エクアドル	2			
エルサルバドル	4			
グアテマラ	4			
コスタリカ	8			
コロンビア	3			
ジャマイカ	3	1		
セントルシア	1			
ドミニカ共和国	13		3	
パラグアイ	4			
ブラジル				13
ベリーズ	1			
ペルー	6			
ボリビア	8			
ホンジュラス	6			
メキシコ	1	2		

■ 合計

	一般	シニア	日系一般	日系シニア	小計
派遣中 (男性/女性)	243 (119/124)	20 (15/5)	16 (7/9)	0	279 (141/138)
累計 (男性/女性)	45,786 (24,310/21,476)	6,553 (5,298/1,255)	1,542 (597/945)	547 (252/295)	54,428 (30,457/23,971)

一般＝青年海外協力隊/海外協力隊

シニア＝シニア海外協力隊

日系一般＝日系社会青年海外協力隊/日系社会海外協力隊

日系シニア＝日系社会シニア海外協力隊

クロスロード

2021 MAY

Contents

■職種別索引 掲載ページ

コミュニティ開発	12
防災・災害対策	6、36
番組制作	15
家畜飼育	8
青少年活動	13
環境教育	4、26
水泳	18
野球	32
PCインストラクター	17、24
教育行政・学校運営	20
料理	14、36
診療放射線技師	21
薬剤師	11、30
障害児・者支援	16

■国別索引 掲載ページ

エジプト	20
カンボジア	18
コロンビア	32
シリア	29
ドミニカ	36
パプアニューギニア	17
パラグアイ	13
東ティモール	15、30
フィリピン	6、8、36
ベナン	12
ボリビア	21
マラウイ	11、24
モザンビーク	4
モンゴル	14
ヨルダン	16

■出身都道府県別索引 掲載ページ

北海道	11
埼玉県	18
千葉県	30
東京都	6、17
長野県	14
富山県	28
三重県	12
大阪府	8、21、32
兵庫県	13
和歌山県	16
広島県	15
福岡県	20
熊本県	24

【凡例】

JICA海外協力隊の方々（経験者を含む）については、次のように表記しています。

国際協子さん(ウガンダ・青少年活動・2019年度3次隊)

氏名	派遣国	職種	隊次
----	-----	----	----

JICA海外協力隊の種類（呼称）は、「青年海外協力隊」「海外協力隊」「シニア海外協力隊」「日系社会青年海外協力隊」「日系社会海外協力隊」「日系社会シニア海外協力隊」があります。特に明記されていない場合は「青年海外協力隊」となります。

本誌は、JICA海外協力隊が活動・生活を円滑に行うための実践的な情報、および帰国後の進路開拓や社会還元に関する有益な情報を提供し、対象者に配布しています。

ロゴタイプデザイン：(株)AND

レイアウト：(株)AND

印刷・製本：弘報印刷(株)

4

JICA Volunteers' Reports

- ▶一時帰国した協力隊員たちで、派遣国に向けた動画メッセージを制作(日本)
- ▶環境分野の協力隊経験者で海洋ゴミ問題に取り組む団体を設立(日本)

派遣国の横顔

～フィリピン～

6

計画・行政

北村名都子さん(防災・災害対策・2018年度1次隊)

8

農林水産

國澤明日加さん(家畜飼育・2018年度1次隊)

特集

語学力向上のコツ

11

英語

佐藤功大さん(マラウイ・薬剤師・2017年度3次隊)

12

フランス語

山田瀬奈さん(ベナン・コミュニティ開発・2018年度1次隊)

13

スペイン語

畑中 遥さん(パラグアイ・青少年活動・2018年度1次隊)

14

モンゴル語

河原礼佳さん(モンゴル・料理・2017年度3次隊)

15

テトウン語

小御門千絵さん(東ティモール・番組制作・2018年度2次隊)

16

アラビア語

田村彩子さん(ヨルダン・障害児・者支援・2018年度1次隊)

17

トク・ピシン語

安藤俊明さん(パプアニューギニア・PCインストラクター・2018年度1次隊)

18

“失敗”から学ぶ

本田ふみのさん(カンボジア・水泳・2017年度3次隊)

20

希少職種図鑑

- ▶教育行政・学校運営 太郎良光男さん(シニア海外協力隊員/エジプト・2017年度3次隊)
- ▶診療放射線技師 笹川恵美さん(ボリビア・2018年度2次隊)

22

JICA海外協力隊的プチテクガイド

ポッチャ入門/スマホ撮影術をブラッシュアップ

24

JICA Volunteers' Before ▶ After ～人生を変えた2年間～

障害児・者の支援を行う会社の社員 淡島祐里さん(マラウイ・PCインストラクター・2015年度派遣)

26

帰国後よもやま話

環境教育隊員篇

28

Pick Up OB・OG会

- ▶青年海外協力隊富山県OB会
- ▶シリアOV会

30

先輩隊員のシューカツ記

株式会社社業ゼミ情報教育センター 社員 巻嶋孝明さん(東ティモール・薬剤師・2017年度1次隊)

32

JOCV SPORTS NEWS

34

JICA海外協力隊のつぶやき

お題：「目覚め」

35

INFORMATION

36

隊員めし

ドミニカのソウルフード「ジャークチキン」



JICA中国のYouTubeチャンネル(右のQRコード)に投稿された動画メッセージ。「設定」によって日本語の字幕を付けて観ることもできる



Japan

制作の流れ	
2020年	8月頃 JICA中国で動画メッセージ制作の企画が持ち上がる
	10月頃 一時帰国隊員たちから参加者を募集し、企画を協議
	11月末 各県の自治体などとの調整をした後、撮影を開始
	12月末 各県での撮影が完了
2021年	1月上旬 編集とナレーションの収録を開始
	3月上旬 完成。各派遣国に動画のURLの送付を開始

一時帰国した協力隊員たちで、派遣国に向けた動画メッセージを制作

文=岩谷允六有 (JICA中国 市民参加協力課兼研修業務課職員)

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により帰国を余儀なくされた協力隊員たち。渡航が再開された2020年11月以降、派遣国に帰ることができた隊員もいる一方で、再派遣が叶わずに任期を終えた隊員も少なくありません。「新型コロナウイルス感染症はすぐに落ち着き、派遣国に戻れると思っていたので、現地の方々にちゃんと挨拶もせずに帰国してしまっただ。そんな後悔を口にしながらも、日本へ派遣国のためにできることをやろうと前を向いて歩む一時帰国隊員たちの姿を見て、協力隊員と派遣国のつながりをなくしてしまっただけじゃない、何かしなければと感じ、JICA中国では、管轄する5県の一時帰国隊員たちにそれぞれの派遣国の方々に向けた動画メッセージを制作してもらったプロジェクトを企画。21年3月に完成させることができました。



岡山県の観光名所、倉敷川で撮影を行うブータン隊員

参加を申し出てくれたのは、一時帰国した14人の協力隊員で、派遣国は計10カ国。動画メッセージは完成後、JICA中国のYouTubeチャンネルに投稿し、協力隊員たちから派遣国の方々に動画のURLを伝えてもらいました。URLを知らせた後、協力隊員たちの中には派遣国から続々とメッセージが寄せられています。なかでも「協力隊員の現在の元気な様子を見ることができ、こちらもとても元気が出た」というコメントが多く、いかに彼らが現地の方々に愛され、重要な存在だと思われているかを再認識することができました。たくさんの人を元気にする協力隊員が、派遣国で思い切り活動できる日は、すぐそこまで来ていると信じています。

それぞれが出演し、派遣国で使用していた言語でナレーションを付けた5分程度の動画を制作してもらったことになりました。せっかくなので制作するのだから、派遣国の方々に「ここを訪れてみたい」と思ってもらえるようなものにしよと、動画内には派遣国へのメッセージに加え、それぞれの出身県の歴史や文化、観光地などの紹介も入れることにしました。動画の撮影・編集を行ったのは、東ティモールで番組制作隊員として活動した後、JICA中国に勤務していた協力隊経験者です。

団体概要	
名称	特定非営利活動法人 クリーンオーシャンアンサンブル
設立	2020年6月(法人化は同年12月)
事務所	①東京都千代田区平河町 1-6-15 USビル8F ②香川県小豆郡小豆島町坂手甲985
代表者	江川裕基 (ブルキナファソ・環境教育・2017年度2次隊) = 代表理事
連絡先	[電話] 070-8360-9815 [e-mail] clean.ocean.ensemble@gmail.com
事業	「海洋ゴミゼロの社会」の実現に向け、以下の活動を実施 ①海洋ゴミの回収・調査 ②学校などでの環境教育活動(予定)
ウェブサイト	



小豆島の南東部にある多尾海岸で、打ち上げられたゴミの回収と組成調査を行った代表理事の江川さん(右)、理事の佐野さん(左)、内海漁業協同組合の代表理事・組合長の森さん

Japan

環境分野の協力隊経験者で海洋ゴミ問題に取り組む団体を設立

文=佐野草也さん (モザンビーク・環境教育・2016年度3次隊 / 特定非営利活動法人クリーンオーシャンアンサンブル理事)

2020年6月、環境教育や廃棄物処理といった環境分野の職種で協力隊に参加した12人で、「海洋ゴミゼロの社会」の実現に向けた活動に取り組む団体「クリーンオーシャンアンサンブル」を立ち上げました。当初は任意団体でしたが、同年12月には特定非営利活動法人の法人格を取得。計画で事業の柱に据えたのは「海洋ゴミの回収と組成調査」「海洋ゴミ削減に向けた啓発」です。コロナ禍で思うように活動を進めるのが難しい状況が続いています。現在までに海洋ゴミの回収と組成調査をスタートさせることができました。



回収したゴミを海路で運び出す理事の広中歩さん(キルギス・環境教育・2017年度2次隊)

協力隊員として環境分野で活動した経験は帰国後に生かしたいという希望が団体立ち上げの出発点ですが、海洋ゴミに着目したのは、世界中で深刻化し、解決に向けた行動の必要性が高まっている問題であることが理由の1つです。もう1つの理由は、いずれ他国の海をきれいにする活動ができるようになれば、日本とその国との友好関係への貢献にもなるからです。一方、協力隊経験者たちをメンバーとする団体にしたのは、さまざまな国で環境分野の活動に取り組むなかで得た知見を持ち寄り、より充実した活動が可能になるとの考えからでした。立ち上げメンバーは、協力隊や「アフリカのきれいな街プラットフォーム」のイベントで接点があり、趣旨に賛同した協力隊経験者たちです。

当団体の最初の活動となった海洋ゴミの回収と組成調査のフィールドは、香川県の小豆島の海岸です。20年8月と21年2月に実施し、ペットボトルを中心とする計100キログラムほどのゴミを回収しました。小豆島を選んだのは、潮流の影響で海岸に打ち上げられるゴミが多いものの、地形上、アクセスしづらいために回収の手が回らない場所が多いこと、その解決に向けた活動に取り組みたい旨の相談を地元町役場や漁業協同組合にした際、いずれもこの問題への意識が高いことがわかり、協働してもらいやすいと感じられたことからです。実際、町役場には回収したゴミを役場の焼却場で処理していただき、漁業協同組合にはゴミ回収に参加していただいたりしました。地元の方々の考えに寄り添いつつ、彼らとのつながりを大切にしながら活動するというのが当団体の基本方針ですが、これはメンバーが協力隊活動でその大切さを学んできたものです。

*アフリカのきれいな街プラットフォーム・アフリカのゴミ問題に取り組むことを目的に、日本の環境省やJICAなどのイニシアチブで2017年に設立されたプラットフォーム。

派遣国の横顔

JICA海外協力隊の派遣国ごとに、それぞれの代表的な職種・分野の活動例を、任地の文化や様子と共に紹介します。



Field 1

計画・行政



きたむら なつこ
北村名都子さん
(防災・災害対策・2018年度1次隊)

PROFILE

1982年生まれ、東京都出身。大学卒業後、消防士として市の消防署に勤務。2018年7月、青年海外協力隊員としてフィリピンに赴任(現職参加)。20年3月に一時帰国。同年5月に任期を終了し、復職。

活動概要

東ネグロス州パンプロナ町の町役場災害リスク軽減・管理事務所に配属され、主に以下の活動に従事。
●同僚などを対象とする、応急手当・救命・消防車の取り扱いに関する技術指導
●村の自治組織を対象とする、応急手当・救命・災害対応に関する技術指導

町役場に配属され、救急や火災の消火などの技術指導に従事

救急、火災の消火、災害や事故での救助などを担う地方自治体の機関に配属された北村さん。同僚たちに専門技術が不足していたが、現場の優先度が高かった救急車の中での応急手当や救命の技術などを伝える活動に取り組んだ。

北村さんの任地は、人口約4万人の東ネグロス州パンプロナ町。配属されたのは、防災事業を所管する町役場の災害リスク軽減・管理事務所だ。防災事業の機能強化を地方自治体に義務付ける災害リスク軽減・管理法が2010年に施行されたのを受けて設置された機関で、傷病者を病院に搬送する救急、火災の消火など、日本では消防署が担当する業務を行っている。配置されていた職員は、正規職員が2人と、臨時職員が常時7、8人。北村さんの着任当時、救急車と消防車が1台ずつあった。しかし、同僚たちには救急車での搬送中に行うべき応急手当や救命の知識がほとんど

なく、消防車は日本からの寄贈でフィリピンのもとは仕様が異なっていたため、取り扱うことができない状態だった。そうしたなかで北村さんに求められていたのは、応急手当や救命、消防車の取り扱いについて同僚たちに技術指導をすることだった。

救急搬送時の対応を拡充

配属先の救急の出動件数は月に100件ほど。搬送者で多かったのは、交通事故で怪我をした人や、すぐに病院にかかることが必要な状態となった妊婦だった。問題は、配属先から「転機となったのは、パンプロナ町よりはるかに規模の大きな自治体の救急を見学したことだ。救急車には看護師が1人同乗し、バイタルサインをとっていた。救急車に同乗する看護師を確保することが予算上難しいのなら、やはり同僚たちが搬送中に応急手当や救命をやるべきだと北村さんは確信。そうして同僚たちにあらためて、「同じフィリピンの中で、あの自治体では救急車でバイタルサインをとっていた。私たちがやろうとしていることは間違っていないと思う。ぜひ続けよう」と発破をかけた。すると同僚たちはようやく重い腰を上げ、救急車で少なくともバイタルサインをとり、その結果を搬送先に伝えるよう

離れた村も多く、搬送先は隣町にある1軒の病院に限られていたため、出動要請を受けてから搬送先へ送り届けるまでに3、4時間もかかるケースがあったこと。搬送中に止血などの応急手当や救命を行えるようになることは、きわめて必要性が高かった。

その点について、配属先の上司は看護師の経験者であり、理解があった。そこで北村さんは、脈や血圧などのバイタルサインのとり方や止血法など、医療従事者でなくても実施可能な応急手当や救命の技術を講習会の形で同僚たちに紹介。しかし、そうした業務は自分たちが手を出す領域ではないという意識が同僚たちにはあり、習得や実践はなかなか進まなかった。同じような意識は、搬送先の医療従事者にも見られた。北村さんが救急車に同乗して搬送を手伝った際、とっておいたバイタルサインの記録を搬送先の看護師に渡したところ、「なぜ看護師でもないのにこういうこと



①同僚などを対象に実施した、救急搬送で行うべき応急手当や救命の技術に関する講習会
②配属先の消防車。任地では揚水の水源は川の水がメインだった
③パンプロナ町の消防署にあった、大量に水を積むことができるタンクローリーで揚水を行う様子

派遣国の横顔

任地ひとロメモ 〈パンプロナ町〉



町が位置するネグロス島はサトウキビの栽培が盛んな地域で、「シュガーアイランド」とも呼ばれる。写真は、その焼畑による火災の消火を行っている様子



右:現地で一般的なジブニーと呼ばれる乗合バス
左:現地のパーティーの食卓。バナナの葉の上にさまざまな料理が並べられる

消防車の取り扱い方を指導

北村さんが力を入れたもう一つの活動は、配属先にあった消防車を同僚たちが取り扱えるようになるための支援だ。パンプロナ町の火災の大半は、サトウキビ畑を収穫後に焼畑する際、風の影響で住宅がある場所まで燃え広がってしまうというものだった。逃げ遅れによる死者は出ないが、住宅の焼失は住民にとって経済的な打撃が大きかった。配属先にあった消防車は消火栓の水を頼りにするタイプであり、積むことができる水は10分ほどの放水でなくなってしまうため、焼畑の延焼の対処には向いていなかった。

フィリピンでは、全国の地方自治体に災害リスク軽減・管理事務所が設けられた一方、国の機関であるフィリピン内務自治省消防局が各地に配置していた消防署も存在していた。パンプロナ町にも消防署があり、配属先と共同で火災の消火にあたることになった。幸運だったのは、消防署には大量の水を積むことができるタンク車があったこと。配属先の消防車と消防署のタンク車を一緒に出せば、長時間の放水が可能だった。そこで北村さんは、同僚だけでなく、消防署に配置されていた職員も交えて、配属先の消防車の取り扱い方を身につける訓練を実施。消防車の各設備に貼られていた名称はすべて日本語だったため、それをすべて英語の表記に変更し、各バルブに開閉の順番を振るなどのフォローもした。すると、応急手当や救命の技術とは異なり、彼らには当初から「消防車を扱うのは我々だ」という自負もあったことから、北村さんの任期が後半に入るころまでには、彼らだけで配属先の消防車を扱うことができるようになっていた。



くにざわあすか
國澤明日加さん
(家畜飼育・2018年度1次隊)

PROFILE

1984年生まれ、大阪府出身。大学卒業後、畜産関連団体に勤務。2018年7月、青年海外協力隊員としてフィリピンに赴任。20年3月に一時帰国し、同年7月に任期を終了。

活動概要

フィリピン農業省の付属機関であるフィリピン水牛センターに配属され、乳用水牛に関する主に以下の活動に従事。
●酪農協同組合への飼養技術の指導
●配属先への繁殖技術の紹介



飼育する水牛の搾乳をする國澤さんの任地の酪農家



上：伝える技術のメリットが直観できるよう「見える化」したプレゼン資料を使って酪農技術の講習を行う國澤さん
下：國澤さんが行った尿素糖蜜ブロックのつくり方を伝える講習会の様子

水牛の酪農家を対象に、聞き取り調査で把握した飼養の課題解決を支援

水牛の酪農の活性化に取り組む政府機関に配属された國澤さん。着任早々に酪農家を回って行った聞き取り調査で明らかになった課題について、定期的に講習会を開催し、それらを解決するための技術を伝えていった。

國澤さんが配属されたのは、フィリピン農業省に付属するフィリピン水牛センター（以下、「センター」）。水牛による酪農の普及や生産性向上を目的とする事業を担う機関である。國澤さんに求められていたのは、「センター」があるヌエバエシハ州の酪農家に水牛の飼養技術の指導をすることだった。

ホルスタインなどの乳用牛は暑さに弱い。暑い気候でも飼養できるが、フィリピンでは伝統的にもっぱら耕作などの役用で飼われてきた。しかし、農業用機械の普及と共に、徐々にその存在意義も低下。そうしたなか、役用水牛の乳用への転換を促し、水牛乳生産による農家の収入向上を図る施策をフィリピン政府が始めたのは1990年代。「センター」もその一環で設立された機関である。

乳用の動物は、出る乳の量が多くなるよう品種改良されたものが望ましく、純系種の雌雄から生まれる雌のほうが出る乳の量ははるかに多い。そこで、「センター」は現在、雌の乳用水牛を貸し出しつつ、純系種の雄の精子で人工授精を引き受けたり、純系種の雄を種牛として貸し出ししたりしている。出産すれば乳が出るようになる一方、産まれる水牛は乳

用に使うことができるため、乳用水牛の頭数も増える。産まれた水牛の所有権は「センター」と農家に半分ずつ帰属。農家が希望すれば、農家が持つ所有権を「センター」が買い取っている。

フィリピンは冷蔵庫の普及率がさほど高くないため、牛や水牛の乳の一般家庭での消費は、生の乳よりも粉ミルクやチーズなどに加工したもののほうが多かった。特に水牛乳は乳脂肪分が牛乳の2倍以上もあり、加工に向いている。ヌエバエシハ州の水牛の酪農家は、主に酪農協同組合単位で水牛乳やその加工品の販売をしていたが、水牛乳の主な販売先の1つだったのは食品加工会社だ。もう1つはフィリピン政府。栄養政策の一環として行っている、小学校で子どもたちに牛乳を配る事業で使うための買い上げである。

聞き取り調査でニーズを把握

國澤さんは着任するとまず、「センター」に近い酪農協同組合の組合員を回って聞き取り調査を行い、飼っている水牛の頭数、牛舎の様子や使っている飼料、搾乳の方法など飼養の実態を把握。「センター」では、乳量や繁殖

改善の意義を理解してもらう工夫

任期が2年間と限られている協力隊員が酪農技術の指導をする場合、紹介する技術のメリットを対象の酪農家に肌で感じてもらうことが難しいという宿命的な困難がある。水牛の出産間隔を縮める程度には限界がある。そのため、出産間隔を縮める方法を紹介しても、國澤さんの任期中にそれを実践し、収入が向上したという具体的な実感を味わってもらうに至るには、運が良くなければ叶わない。

活動開始にあたって行った聞き取り調査では、8割の酪農家が「特に不都合は感じていない」と回答した。実態を聞き出すと、乳量を増やす余地があることはわかったが、酪農家たちは自分が飼う水牛の能力を客観的に評価する術を持っていなかったのだ。そこに問題の根本的な要因があると考えた國澤さん

は、「飼養方法をどう変えれば、どれくらいの収入増になるか」をわかりやすく示したプレゼン資料をつくり、組合で行う講習会で活用するようにした。例えば、出産間隔を縮める方法を伝える際は、出産間隔の違いによって一定期間に得られる収入がどれくらい変わるのかを、棒グラフを使った視覚資料によって「見える化」した。

手応えを感じたのは、同僚が定期巡回でやったデータを酪農家ごとにレポートにまとめ、彼らに提供したことだ。そこには、飼っている水牛ごとの前月と今月の乳量、および今月の乳房炎の状態なども表にして記載。すると、乳房炎の悪化が乳量の低下に影響していることを直観的に理解し、國澤さんが紹介した飼養の改善方法を実践してくれる農家も現れるようになったのだ。

派遣国の横顔

の状況を確認するために職員が各酪農家を巡回していた。その際、酪農家が直面している問題への技術的なアドバイスをを行うことはあったが、重要な技術についてじっくり説明する余裕はなかった。そこで國澤さんは、2つの酪農協同組合で毎月1回ずつ講習会を開き、聞き取り調査で明らかになった課題の解決に必要な技術を伝えていった。対象とした組合に所属していた酪農家が飼っていた水牛は、1頭から十数頭。以下は講習会で扱ったトピックの一例である。

■ 出産間隔の管理

乳用水牛の出産間隔が長すぎるため、乳の生産性が低くなっていった組合員が多かった。出産間隔を最小限にするためには、種付けが可能な発情の訪れを見逃さないため、発情徴候の確認を習慣化し、記録することが不可欠だ。ところが國澤さんの着任当時、それを実践している酪農家は一部に限られ、実践していない酪農家よりやはり生産性が高いことが聞き取り調査でわかった。そ

■ 栄養の管理

ヌエバエシハ州では、乳用水牛の餌として飼料用の牧草や稲わらなどを利用しているが、乾期には特に牧草などが不足することがあった。そこで、稲わらだけでは不足してしまう栄養素を補うため、手づくりできるサプリメントのつくり方を講習会で紹介。現地でも入手可能な糖蜜などを材料とする「尿素糖蜜ブロック」と呼ばれるものだ。

任地ひとロメモ

〈ヌエバエシハ州〉



州の農村部に広がる田んぼ。主食はコメで、道の右側には収穫したコメが広げられ、天日干しされている



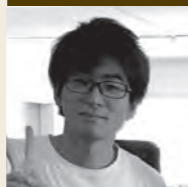
右：現在も使われている役用水牛で除草作業をしている様子
左：「イハウイハウ」と呼ばれる豚肉、鶏の脚・腸・レバーなどの炭火焼きが楽しめる屋台

英語の語句を紙に書いて壁に貼った、佐藤さんの協力隊時代の自宅



英語

英語漬けの環境をつくる



さとうこうた
話：佐藤功大さん
マラウイ・薬剤師・2017年度3次隊

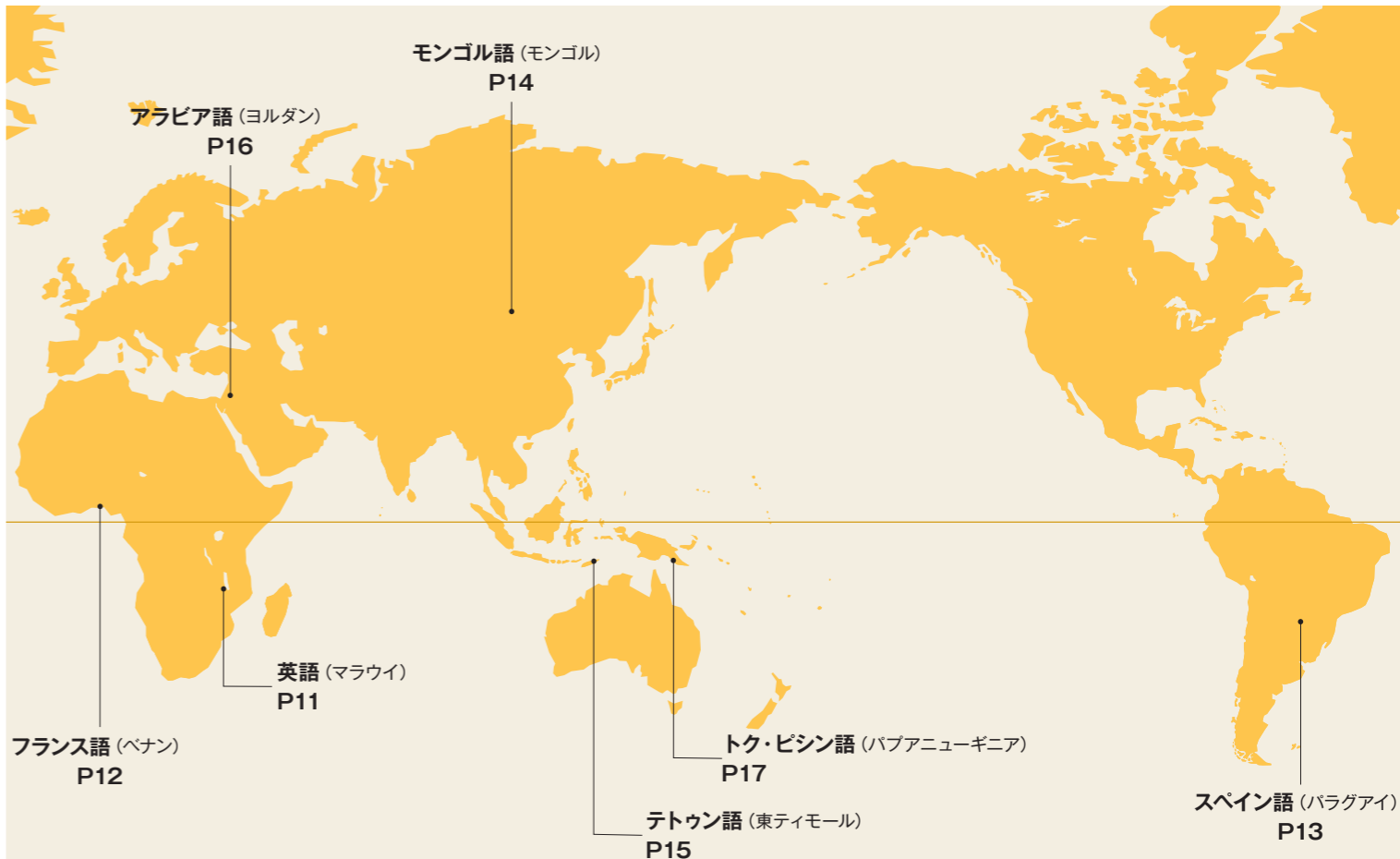
- 派遣前訓練で学んだ言語：英語
- 現地語学訓練で学んだ言語：トゥンブカ語

—— 赴任時の語学力は？
派遣前訓練では、もともとレベルが低いクラスに振り分けられました。検定試験の点数が応募できるラインをぎりぎりクリアするレベルだったので、事前に自習を試みても、ほとんど効果がなかったからです。訓練はなんとか乗り切りましたが、赴任後も当初は自分が何を言っているのかわからないまま会話をしているような状態でした。同僚は日本人の英語力が低いことを承知のうえで接してくれるので助かりましたが、よそではそうはいきませんでした。銀行でお金を下ろす際、手続きの説明が聞き取れないため、しまいに「あなたは病気？」などと言われてしまったこともあります。

話に付き合ってくれるような現地の友人をつくることは、英語力向上の近道だと思います。私は赴任してまもない時期に地域のサッカーチームに入らせてもらったのですが、そこで気が合う友人に出会うことができました。そうした友人を得るためには、相手から話しかけてもらいやすいよう、努めて笑顔でいることが重要かと思えます。

力の障壁は「恥ずかしさ」だと思います。現地の友人を自宅に招いた際、スピーカーからリスニング教材が流れ出してからかわれたこともあります。雨期は雨音が大きいので、近所の人に聞かれることを心配せずに大声で英語の歌を歌うチャンスでした。そうした生活を1年ほど続けたところ、活動中、切羽詰まった状況でとっさに英語のフレーズが出てくるまでになりました。

—— 後輩の協力隊員に向け、語学力向上に関するアドバイスをお願いします。
私のように応募時の英語力が最下位レベルの人は、派遣前訓練から相当苦労するはずです。しかし、私でさえ帰国後に国際NGOの職員として英語を使って仕事をすることができるようまで語学力が伸びました。重要なのは、覚悟を決めて日々、勉強に励み続けることだと思います。



特集

語学力向上のコツ

異文化社会に入り込み、現地の人と活動や生活を共にするJICA海外協力隊にとって、語学力は活動や生活の充実度を左右する重要な要素だ。どのような勉強方法が語学力向上に有効なのか。協力隊経験者の事例からそのヒントをピックアップしてみた。



耳に残る言葉

トゥー・ミニッツ
「2 minutes!」
あと2分!

約束の時間が過ぎても現地の人が姿を見せないのはよくあること。そこで電話を掛けると、決まってこんなフレーズが出てきました。顔面どおりに受け取ってはいけません。30分経ってもやって来ないのはざらでした。ようやく到着したときに口にする遅刻の言い訳も、いつもなかなか秀逸でした。



配属先の院内薬局の同僚たちと。佐藤さんの働きかけにより、「時間を守る部署」としてマラウイ政府から表彰されるまでになった

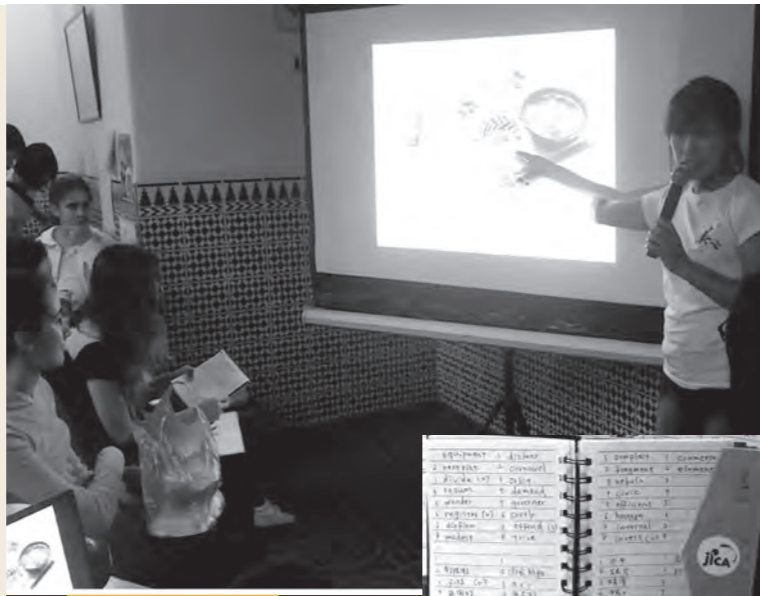
■プロフィール

1987年生まれ、北海道出身。大学の薬学部を卒業後、薬剤師として薬局と病院に勤務。2018年1月、青年海外協力隊員としてマラウイに赴任。20年1月に帰国。現在は国際NGOのアフリカでの事業に従事。

■協力隊活動

- ルンビ県の県病院に配属され、主に以下の活動に従事。
- 院内薬局の業務支援
- 5S活動の定着支援

協力隊員たちで開いた「日本祭り」で、日本食の栄養についてプレゼンする畑中さん。スペイン語力の向上にもつなげるため、準備に時間をかけたプレゼンの1つだ



スペイン語

畑中さんの語学学習用ノート

プレゼンの準備を語学力向上の機会に

はななか はるか
話：畑中 遥 さん
パラグアイ・青少年活動・2018年度1次隊

- 派遣前訓練で学んだ言語：スペイン語
- 現地語学訓練で学んだ言語：スペイン語



—— 赴任時の語学力は？
スペイン語は初めて学ばず言語だったため、選考試験に合格した後、スペイン語ができる知人に少し習うなどしておいたものの、上達した実感はほとんどないまま派遣前訓練に入りました。しかし、訓練が終わるころにはネイティブの先生とスムーズに会話ができるようになっていました。派遣前訓練の間の上達でもっとも効果があった勉強法は「音読」です。訓練所の語学の先生に勧められ、毎晩、その日の授業で発音を学んだ単語や文を1〜2時間かけて繰り返し音読するという習慣を続けたのですが、特にリスニング能力の上達を感じられるようになりました。しかし、派遣前訓練で学ばず語彙だけではやはり足りず、赴任した当初は語彙の乏しさが一番のネックでした。複数人での会話でわからない単語が1つ出てきたとたん動揺

してしまい、先の話にまつたく付いていけなくなってしまうことがよくあったからです。—— 語彙を増やすための対策で有効だったのは？
現地の人と一対一で会話しているときにわからない単語が出てきたら、その場で相手に意味を尋ねたり、スマートフォンに会話を録音しておいて後で辞書で調べたりといったことを地道に続けた結果、徐々に語彙は増えていきました。—— その後、スペイン語力をさらに上げたための勉強などは行いましたか。
保健・医療分野の協力隊員で、スペイン語力の向上が顕著に速かった人がいたので、その秘訣を探ったところ、週に1度のペースで啓発のプレゼンを行っていることがわかりました。そこで私も赴任して半年ほど経ったころから、スペイン語でプレゼンをする機

会が訪れた際、同時にスペイン語力の向上にもつなげようと考え、台本づくりやその発音の練習に時間をかけるようにしました。すると任期の半ばには、同僚に「スペイン語力がずいぶん向上したね」と言ってもらえるようになりました。—— プレゼンの準備は具体的にどのような進め方でしたか。
「使えるようになりたい」と思っている言い回し、意味はわかるけれども普段の会話ではまだ自然に出てくるまでにはなっていない言い回しを、意識して台本に盛り込み、その発音練習を繰り返し行うようにしました。台本をつくったら現地の人に読み上げてもらい、それをスマートフォンで録音して発音のモデルとしました。意識して盛り込んだ言い回しの中心は、「〜を通して」や「〜の問題については」など、文と文をつなげるも

のです。それらはさまざまなトピックの会話で使える汎用性の高い表現なので、プレゼンで使った後は意識してほかの場面でも使い、技能の定着を図りました。—— 後輩の協力隊員に向け、語学力向上に関するアドバイスをお願いします。
派遣前訓練のスペイン語の恩師にいただいた「音読が重要」という助言は、今振り返っても貴重なものだったと思います。恩師は「ただ音読するだけでなく、できるだけ速く音読できるように練習することが重要だ」とも指導してくださいました。「言えるものは聞き取れる」という趣旨の教えであり、実際、私はプレゼンの練習で現地の人たちと同じような速さで話す練習を重ねたところ、赴任の約1年後には現地の人が通常の速さで話すスペイン語が8割方は聞き取れるようになりました。

講習会の教材を現地の人に添削してもらっている様子



フランス語

講習会のために準備した台本

活動資料の添削を現地の人に依頼

やまだ せな
話：山田 瀬奈 さん
ベナン・コミュニティ開発・2018年度1次隊

- 派遣前訓練で学んだ言語：フランス語
- 現地語学訓練で学んだ言語：フランス語



—— 赴任時の語学力は？
フランス語は一から学ばず言語だったのである程度自習してから派遣前訓練に入ったところ、上位のクラスではあったのですが、赴任時は読む・書く・聞く・話すのすべてが苦手という状態でした。—— 語学力不足は当初、活動にどのような影響がありましたか。
求められていたのは村落部で保健活動を行うことだったので、着任するとまずは村落部を回って保健に関する住民への聞き取り調査をすることにしました。ところが、村落部の住民が普段使っているのは現地語のアニ語で、公用語のフランス語は苦手という人も少なくありませんでした。そのため、私自身のフランス語力の不足とあわせて、フランス語での聞き取りは難航しました。フランス語が特に苦手な人への聞き取りは、フラ

ンス語を話せる近所の人にアニ語の通訳をしてもらったのですが、お願いした人のフランス語力も私のように低いレベルであることが多く、通訳を介した聞き取りもなかなか思うようには進みませんでした。—— 語学にまつわるそうした困難に対し、その後どのように対応しましたか。
アニ語の勉強を始めたのですが、すぐに活動で使えるだけのレベルにはなりません。そこで村落部の住民とコミュニケーションをとる際は、ときおりアニ語を混えつつも、彼らがわかる語句に絞ったフランス語をベイスにすることにしました。この方法は有効でした。保健に関する聞き取り調査の結果を踏まえて私が主に取り組んだのは、「おから」を使った料理を普及させる活動です。任地では豆腐のような料理がつかられていましたが、その過程で出るおからは捨て

られるか、家畜の餌にされるかしていたので、それを活用してタンパク質や食物繊維の摂取量を増やしてもらおうと考えました。村落部の住民におから料理を紹介するため、開く講習会も、フランス語で行いました。その台本や教材は事前に村の保健センターの職員に見せ、村落部の住民がわかるようなレベルのフランス語に修正してもらいました。多様な意見を集めたいと思ったので、添削はあえてほかの人が通るような場所で行ってもらい、通りがかった人にも声をかけ、台本や教材で使っているフランス語について意見を求めました。そうした方法をとったことで、受講者に理解してもらいやすい講習会にすることができました。さらに、自身のフランス語力の向上にもつながったという実感がありました。添削してもらった際に、現地の人たちからより意味が通りやすい

表現なども教えてもらうことができたからです。—— 後輩の協力隊員に向け、語学力向上に関するアドバイスをお願いします。
私の同僚たちはそれぞれの担当業務を抱えて忙しく、おから料理の講習会に同行してもらうことは難しかったのですが、村の保健センターの職員などは台本や教材の添削を快く引き受けてくれました。おそろしく配属先がそうした状況にある協力隊員は少なくないと思います。ぜひ、添削については遠慮せずに現地の人たちに相談してみてください。また、同じ任地の人でも、年代や受けてきた教育などによって語学力はさまざまなので、添削はできるだけ多様な人にお願ひするのが良いかと思っています。

耳に残る言葉

アシー・ノ・マス!
「Así no más!」
そのままがいいよ!

同僚などに活動でうまくいかないことについて相談した際によく返ってきた言葉です。パラグアイではこの表現が使われていましたが、正式な表現は「nada más」です。「そんなにがんばらなくても大丈夫」という、のんびりとして寛容なパラグアイ人の姿勢が表れている言葉だと感じました。



小学校の体育授業でリズムを教える畑中さん

- プロフィール
1986年生まれ、兵庫県出身。大学卒業後、中学校の英語科教諭と小学校教諭を7年間務める。2018年7月、青年海外協力隊員としてパラグアイに赴任。20年3月に一時帰国し、同年7月に任期終了。現在はJICAの国際協力推進員（京都府担当）。
- 協力隊活動
NGO「クレセール」（グアイラ県）に配属され、主に以下の活動に従事。
● 小学校での算数や体育の授業の実施
● 高校生や大学生を対象とする英語講座の実施
● 女性を対象とするズンバの指導

耳に残る言葉

デシェ・ドゥ・ソジャ
「déchét de soja」
大豆のごみ

おからはフランスで「pulpe de soja（大豆の果肉）」と呼ばれますが、任地ではこの言葉は知られておらず、代わりに「déchét de soja（大豆のごみ）」と呼ばれていました。日本では「栄養価が高い」という良いイメージがありますが、任地では家畜の餌。もっともな表現なのだと思います。



乳児のワクチン接種のために集まった村落部の女性たちに、おから料理の紹介をする山田さん

- プロフィール
1992年生まれ、三重県出身。大学卒業後、民間企業に勤務。2018年7月、青年海外協力隊員としてベナンに赴任。20年3月に一時帰国し、同年7月に任期終了。現在はまちづくりに関する仕事に携わっている。
- 協力隊活動
ドンガ県バシラ市ベネスル区の区役所に配属され、栄養改善を目的におから料理や乾燥おからを普及させる活動に従事。

小御門さんが講師を務めた日本語教室の生徒たち



テトウン語



小御門さんが語学の勉強に使ったノート

日本語の授業を担当し 互いの言語を学び合う

こみかぢちえ
話：小御門千絵さん

東ティモール・番組制作・2018年度2次隊

- 派遣前訓練で学んだ言語：テトウン語
- 現地語学訓練で学んだ言語：テトウン語



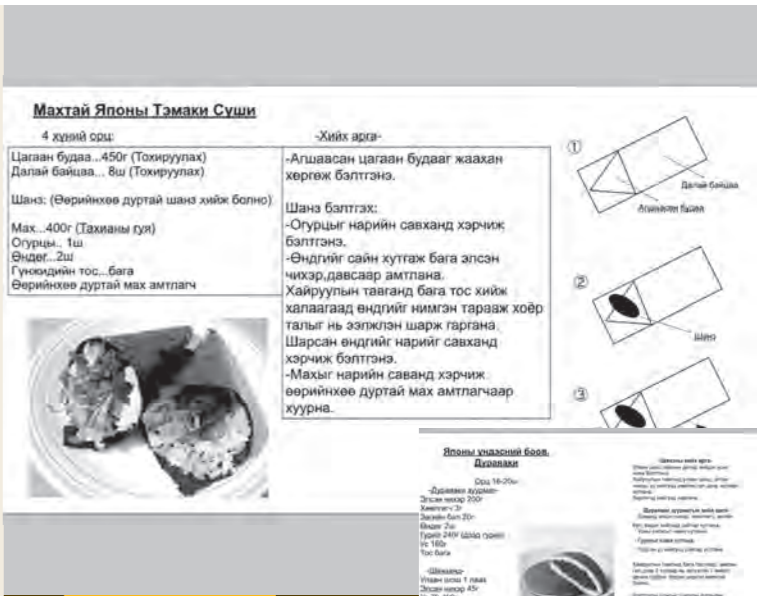
—— 赴任時の語学力は？
テトウン語は初めて学ぶ言語でしたが、これといった教材が見つからなかったため、十分な予習ができないまま派遣前訓練に入りました。しかし、それまで日々の仕事に追われて新たなことをじっくり学ぶ機会がなかったことから、テトウン語の勉強が楽しくて仕方なく、ほかの言語を勉強していた同期隊員から「もうそんなに話せるの!？」と驚かれるほど速く上達することができました。訓練中の勉強方法で特に効果が高かったのは、テトウン語を学んでいる同期隊員たちと授業以外の場でもテトウン語で会話するようになったことです。アウトプットをすればするほど、授業で学んだことが身につくという実感がありました。そうして訓練の最終試験では高い点数を取ることができましたが、赴任するとまだまだ力不足だと

痛感させられました。東ティモールは公用語のテトウン語が使われていますが、支配や侵略を受けた歴史から公用語となつていてポルトガル語やインドネシア語の語句を混ぜて使う人がおり、それらに関する語彙力が圧倒的に足りなかったからです。そのため、話す・書くという「発すること」はある程度こなせたものの、聞く・読むという「受け取ること」が満足にできませんでした。
—— 語彙力向上に有効だった対策は？
同僚との会話でわからない語句が出てきたらスマートフォンにメモしておき、後で辞書で調べたり、ホームステイ先の家族に尋ねたりしました。当初は同僚も私がわからない語句についていていねいに説明してくれたのですが、私がその説明をなかなか理解できないことも多く、やがてため息をついて「もーいいいよ」と諦められしまうことも出てき

ました。そのため、同僚に語句の意味を尋ねるのはどうしても遠慮するようになってしまいました。その点、ホストファミリーには気兼ねなく質問することができました。そうして語彙は徐々に増えていき、それにつれて読む力や聞く力も上がっていったのですが、一方で、話す力や書く力については伸び悩みを感じるようになっていきました。テトウン語は語句のレパートリーが少ない言語であり、例えば「やりがいを感じる」「後悔する」といった概念にあたる単語がありません。そうした概念は、ほかの意味を持つ語句を組み合わせて表現しました。
—— 伸び悩みはどのように打開していったのでしょうか。
任期の後半、現地のNGOが開いている日本語教室で授業をさせてもらうようになりました。それがテトウン語の表現力の向上

にもつながりました。番組の制作を支援するという私の本来の活動では、伝えたい概念の表現方法がわからないときに、伝えるのを避けてしまっても問題ないことが少なくありませんでした。しかし、伝えることを避けてばかりいては授業は成立しません。そのため、事前に伝えたいことの表現方法を懸命に調べて授業に臨み、それによって表現力が伸びていきました。
—— 後輩の協力隊員に向け、語学力向上に関するアドバイスをお願いします。
本来の活動でかかわるのは大人ばかりでしたが、日本語教室の生徒は高校生や大学生でもありました。語学力向上という点でも、現地のさまざまな世代の人とかかわる場を見つかることは有益だと思います。

河原さんが作成した「手巻き寿司」のモンゴル語版レシピ



モンゴル語

河原さんが作成した「どら焼き」のモンゴル語版レシピ

活動に関連する用語を 重点的に勉強

かわはらあやか
話：河原礼佳さん

モンゴル・料理・2017年度3次隊

- 派遣前訓練で学んだ言語：モンゴル語
- 現地語学訓練で学んだ言語：モンゴル語



—— 赴任時の語学力は？
モンゴル語は初めて学ぶ言語であり、選考試験に合格してモンゴルに派遣されることが決まった時点からモンゴル語の勉強に力を入れていたこともあって、派遣前訓練の修了時は同期隊員のなかで上位のレベルでした。しかし、赴任当時はまだわからない語句もたくさんあり、現地の人が話す速さでは十分に聞き取ることができませんでした。そのため、活動について同僚と話し合う際、私のモンゴル語力の不足から認識のずれが生じてしまったこともありました。そうしたなかでも、着任早々に任された料理の実習授業では、教材とするレシピの作成や口頭の指導をさほど苦労なくこなすことができました。「料理の指導」という私の活動に必要な語句の習得に重点を置いて勉強しておいたことが功を奏したのだと思います。

—— 料理の指導に必要な語句は、具体的にどのような方法で勉強したのでしょか。
インターネットをフル活用した勉強です。1つは、料理のレシピをモンゴル語で紹介するサイトを探し、そこで使われている語句をノートに書き写し、翻訳していきました。手間はかかりますが、それゆえ語句を確実に習得できたと思います。パスタやサラダ、ハンバーガーなどさまざまな国でつくられている料理のレシピをモンゴル語で紹介するサイトもあります。モンゴル語のサイトでは他国のものと少しレシピが異なったりすることもあり、料理を専門とする私にとっては興味が尽きず、勉強を継続する意欲も刺激されました。また、モンゴル語で料理の手順を紹介する動画をYouTubeで探し、暇さえあれば視聴していました。出演者の動きを見ながらであれば、セリフの意味が理解し

やすく、リスニングの練習には打って付けだと思います。こうした自習でわからない語句があったら書き留めておき、派遣前訓練や現地語学訓練の先生に尋ねて不明な点をひとつひとつ解決していきました。そうして学んでいった料理に関連する語句は随時パソコンに入力していき、「モンゴル語の料理用語集」としてまとめました。この資料は、ほかの職種のモンゴル隊員がプラスアルファの活動で日本の料理を紹介する際にも役立ててもらうことができました。
—— 赴任後にモンゴル語力向上のために実践したことは？
私のモンゴル語力を知らず、普段のスピードで話してくる現地の人との会話に早く慣れることが重要だと思ったので、同僚とのコミュニケーションを密にするだけでなく、街ですれ違う人に必要以上に道を尋ねてみた

り、買い物をする際に必要以上に店員と会話をしてみたりといったことを意識して行うようにしました。それによってモンゴル語で生活することへの不安もすぐに消えていきました。
—— 後輩の協力隊員に向け、語学力向上に関するアドバイスをお願いします。
YouTubeにその国の言語で投稿している人、派遣前訓練や現地語学訓練の先生、配属先の同僚や任地の住民などは、協力隊員にとっては語学の先生です。ぜひ彼らをフルに活用してください。なかでも赴任後に接する人たちと積極的にコミュニケーションをとれば、語学の向上だけでなく、活動に協力してもらえただけの人間関係の構築にもつながるはずです。また、基本的な文法を習ったら、活動で使う単語や表現を重点的に学んでいくのも早道だと思います。

耳に残る言葉

モラス
「moras」
具合が悪い

仕事に遅れたり、約束をドタキャンしたりすることが日常茶飯事だった同僚たち。理由を聞くと、たいていこの言葉が返ってきました。当初は理解が難しく感じましたが、医療水準が日本ほど高くなく、日本では助かるであろう命が失われている実態を知り、この言葉への認識が変化していきました。



協力隊員を取り上げる番組のロケに参加する小御門さん(右端)

■プロフィール

1988年生まれ、広島県出身。横浜国立大学を卒業後、西日本放送株式会社アナウンサーとして勤務。2018年10月、青年外協力隊員として東ティモールに赴任(現職参加)。20年3月に一時帰国。同年7月に任期を終了し、復職。

■協力隊活動

- 国営の全国放送局である「東ティモールラジオテレビ」(ディリ県ディリ市)の番組制作局に配属され、主に以下の活動に従事。
- 毎朝放送される情報番組や協力隊員を取り上げる番組の制作支援
- 子ども向け番組の立ち上げ支援

耳に残る言葉

ハイルテイ・シュ!
「Хайртай шүү!»
愛しているよ!

意中の異性に愛を伝えるときだけでなく、同性の友人や職場の同僚に対してお礼や信頼の気持ちを伝えるためによく使われる言葉です。モンゴル人は日本人と顔立ちが似ていますが、自分の感情や思いを素直に言葉で表現するお茶目でおおらかな点が、日本人とは違うなと感じました。



配属先で河原さんが行った料理の実習授業の様子

■プロフィール

1990年生まれ、長野県出身。調理師専門学校を卒業後、都内の飲食店に勤務。2018年1月、青年海外協力隊員としてモンゴルに赴任。20年1月に帰国。

■協力隊活動

- ドンドゴビ県職業訓練校に配属され、主に以下の活動に従事。
- 料理コースの実習授業での指導
- 住民対象の料理教室の開催
- 食品会社や飲食店への助言

安藤さんが集め、活用したトク・ピシン語の教材

赴任時の語学力は？
 パプアニューギニアでは、現地語のトク・ピシン語とヒリモツ語 および英語の3つが公用語になっています。普段の生活で主に使われているのはトク・ピシン語ですが、学校教育では英語の導入が進められており、私の配属先のような中等教育機関では全面的に英語で教育を行うことになっていました。私が派遣前訓練で学んだのは英語なので、赴任後も活動に関しては語学の面でさほど苦労するということはありませんでした。問題は、生活言語であるトク・ピシン語の力です。現地語学訓練でわずか1週間程度学んだだけで任地に赴いたため、当初は日常生活での語学の苦労が多かったです。テレビやラジオの一部はトク・ピシン語なので理解できず、現地の人たちのトク・ピシン語の会話にはまったく加わることができない、店や

銀行で英語が通じないために四苦八苦する、といった状態でした。
 トク・ピシン語についてどのような対策をとったのでしょうか。
 選考試験に合格してパプアニューギニアについて調べたところ、派遣前訓練で学ぶのは英語だけでも、トク・ピシン語の力も不可欠だと感じました。そこで、派遣前訓練に入る前に日本で購入可能なトク・ピシン語の教材を集めておいたのですが、それは赴任後に重宝しました。
 そうした教材は実際にどのように活用していったのでしょうか。
 赴任してまもなく、トク・ピシン語を流暢に話す先輩隊員に話を聞いてみると、活動は英語でもこなせるけれども、任地の住民との会話は基本的にトク・ピシン語であり、とんでもない金額の水道代が請求されたときな

どをつびきならない状況を乗り切っていくためにはトク・ピシン語の力が不可欠だと感じました。そこで私が実践したのは、入手しておいたトク・ピシン語の教材を活用して、トク・ピシン語、英語、日本語の3つの言語について、意味が共通する語句の対応をまとめた簡易な辞書をつくることでした。それを残せば、パプアニューギニアの後輩隊員にも有益だろうとの考えもありました。その制作作業を通じて、私自身のトク・ピシン語の語彙力は自ずと高まっていきました。
 辞書は具体的にどのようにつくったのでしょうか。
 トク・ピシン語の習得に関心を持つパプアニューギニアの協力隊員たちに声をかけて、賛同してくれた8人で制作グループをつくり、新設したFacebookページでやりとりしながら制作を進めました。語句の

分野ごとに制作の役割分担をし、私の任期終了までに約2000の単語を盛り込む辞書をつくることができました。つくった辞書は後輩隊員に活用してもらえよう、インターネット上でも公開しています。各単語には、現地の人に読み上げてもらった音声で発音を確認できるようにもしています。
 後輩の協力隊員に向け、語学力向上に関するアドバイスをお願いします。
 現在、おそらく協力隊員どの派遣国も、現地のマスメディアの記事をインターネットで閲覧することができるため、派遣前からその国の現在の状況について情報を入手することができるかと思いますが、そうした記事や辞書を片手に読み解くことは、現地情報への入手と現地の言語の習得を同時に叶えることができる、一石二鳥の勉強法ではないかと思います。



トク・ピシン語

制作した辞書のページ例 (下のQRコードはアップロード先)

現地語と日本語の辞書を作成

あんどうとしあき
話：安藤俊明さん
 パプアニューギニア・PCインストラクター・2018年度1次隊

- 派遣前訓練で学んだ言語：英語
- 現地語学訓練で学んだ言語：トク・ピシン語

耳に残る言葉

ライター!
「Later!」
 もう少し後で!

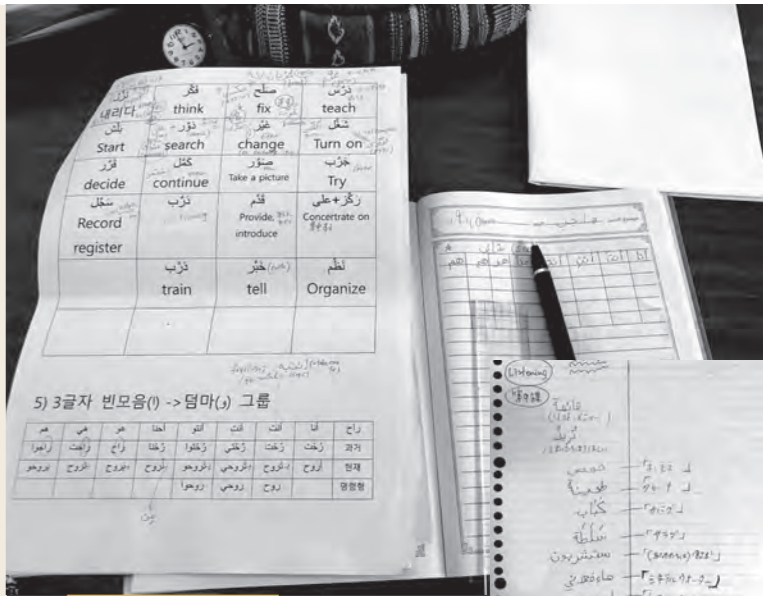
任地で主に使われているのは公用語のトク・ピシン語ですが、この英語は現地の人の会話によく出てきます。トク・ピシン語にも同じ意の「bihain」という単語があるのですが、依頼したことを期限どおりにやってもらえないときに問い合わせると、なぜかいつもこの語で返ってくるのが不思議でした。



安藤さんが担当したコンピュータの授業の様子

- プロフィール
 東京都出身。大学卒業後、情報科教員として高校に、技術・家庭科教員として中学校に勤務した後、2018年7月に青年海外協力隊員としてパプアニューギニアに赴任(現職教員特別参加制度)。20年3月に任期を終了し、同年4月に復職。
- 協力隊活動
 ポボンデッタ高校(オロ州)に配属され、主に以下の活動に従事。
 ●コンピュータの授業の実施
 ●故障したパソコンの修理などの授業環境の整備

現地語学訓練時に使った教材



アラビア語

派遣前訓練時の語学学習ノート

わからない語句をその場でメモ

たむらあやこ
話：田村彩子さん
 ヨルダン・障害児・者支援・2018年度1次隊

- 派遣前訓練で学んだ言語：正則アラビア語
- 現地語学訓練で学んだ言語：アラビア語ヨルダン方言

耳に残る言葉

インシャ・アッラー
「إن شاء الله」
 神が望めば

任地はイスラム教社会。未来の事柄に言及するときは必ずこの言葉を添え、「人間の力では未来を左右できない」という謙虚な考えを表します。同僚に「こんな活動をするつもりです」とプランを伝えるときも、この言葉を返されました。幸い、私は思い描いた活動をまっとうすることができました。



自閉症クラスで行った、小麦粉の粘土を使った工作の授業

- プロフィール
 1984年、和歌山県出身。2カ所の児童発達支援センターに計8年半勤務した後、2018年6月に青年海外協力隊員としてヨルダンに赴任。20年3月に一時帰国し、同年6月に任期終了。
- 協力隊活動
 知的障害児の通所施設に配属され、主に以下の活動に従事。
 ●自閉症クラスでのアクティビティの実施や教育手法の紹介
 ●全クラス合同のスポーツアクティビティの実施

赴任時の語学力は？
 アラビア語のアルファベットは28個ですが、語頭・語中・語末で文字の形が異なります。そのため、アラビア文字を覚えることが習得の最初の難関です。私は語学が得意ではないと自覚していたので、派遣前訓練に入る前にアラビア文字をすべて覚えておき、さらに訓練中も授業の後は毎日、図書館で時間をかけてその日に習ったことの復習や日記づけをしました。そうして最終試験では同期隊員のなかで中の下くらいの点数を取ることができたのですが、赴任するとはほとんど歯が立たないことがわかりました。特に聞き取りがまったくできず、当初は同僚たちのお茶の時間がつらくて仕方ありませんでした。
 赴任当初に行ったアラビア語力向上のための対策で有効だったのは？
 同僚たちとの会話でわからない語句が出

てきたらその場でノートにメモし、相手に意味を尋ねる、という方法が有効でした。しかし、その効果が実感できるまでには1年ほどかかりました。当初は、Aという語句の意味を尋ねて「Bという意味だ」と説明されても、Bの意味がわからない。そうして言い換えを4、5回重ねたあたりで、たいてい相手に愛想をつかされるわけです。カタカナでメモしておき、借りていた家の大家さんに後で意味を尋ねたりもしたのですが、発音も正確に聞き分けることができているので、どの語句のことなのか判明できないことも少なくありませんでした。そのため、とにかくひるまずに会話の相手にその場で意味を尋ねることを続けました。するとあるとき、語句の意味を説明するのを嫌がるようになっていた同僚が私のノートにある膨大なメモを見て「こんなに勉強しているんだね」と興

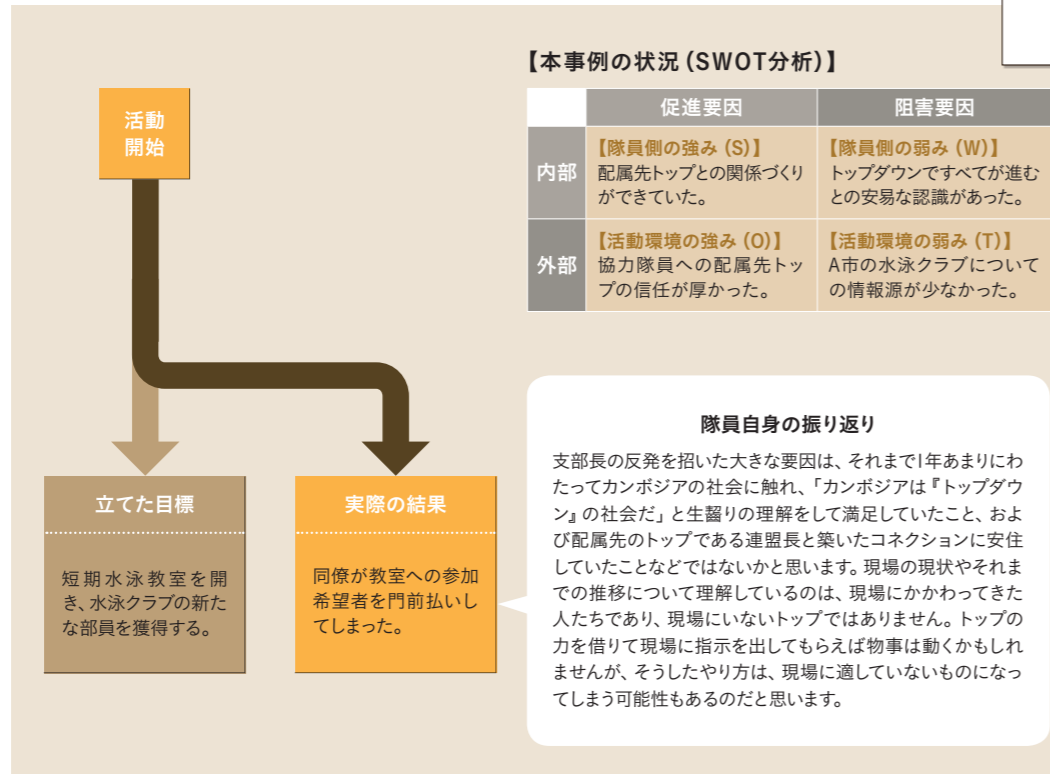
味を持ち、同僚たちがノートの直し読みを始めた。「なんだか食べ物の名前ばかりね」「さっき話に出たばかりの言葉じゃない」などどひとしきりからかわれた後、「すこいわ」とほめられ、その後は辛抱よく語句の説明をしてくれたり、「付いて来なさい!」と言ってその語句の実物がある所に連れて行ってくれたりするようになりました。四六時中メモをとる必要がなくなったのが、赴任の約1年後です。
 大家さんは語句の意味を辛抱強く教えてくれる人だったということでしょうか。
 そのとおりです。帰宅後にお宅にお邪魔して1、2時間、お茶を飲みながらその日にあったことなどあれこれ話をするのが日課であり、その時間にアラビア語についての質問にも答えてくれました。大家さんとのそうした付き合いの最大の意義は、アラビア語

の力が足りないなかでも臆せず現地の何とかかわる勇気を得たことです。大家さんという言わば「安全地帯」で得たそうした勇気をベースに、赴任して半年あまり経ったころからは、配属先でも同僚たちに積極的にかかわることができるようになりました。
 後輩の協力隊員に向け、語学力向上に関するアドバイスをお願いします。
 語学の勉強方法は十人十色ではないかと思いますが、私の能力では「メモ」によらなければアラビア語力の上達はなかったと思いますが、そういう方法をとらなくても語彙力を伸ばせる協力隊員もいるでしょう。また、私は大家さんという語学の先生となつてもらえる人がたまたま身近にいましたが、そうでない協力隊員もいると思います。ぜひ、それぞれの状況にもっとも合った勉強方法を見つけ出してください。

“失敗”から 学ぶ #190



事例整理



上司の賛同を得て実現した活動が 現場の同僚の反発で一時危機に

話 〓 本田ふみのさん（カンボジア・水泳・2017年度3次隊）

私はカンボジア水泳連盟に配属され、任期の前半は連盟の本部が運営する首都の水泳クラブで、後半は地方都市（以下、A市）にある連盟の支部が運営する水泳クラブで技術指導にあたった。

A市で活動を始めた当時、クラブには十数人の部員がいたが、クラブの運営を担う支部長はいなかった。技術指導ができるコーチはいなかった。着任して問題だと感じたのは、部員が支部長に縁のある子どもばかりに偏っていたことだ。そこで私は、着任の約半年後に始まる夏休みに、部員以外の子どもも受け入れる短期の水泳教室を開き、支部長に縁がない部員の獲得につなげようと考えた。

自分に縁がない子どもを部員として受け入れることを支部長は嫌がるだろうと私は思っていた。一方、彼女は毎日のように私を食事に誘ってくれるなど親切であり、そうした良好な関係を崩したくはなかった。そこで私は、彼女に教室開催のアイデアを伝えないうえ、任前半に共に活動した本部の連盟長に相談。カンボジアはトップダウンで物事が進む社会なので、連盟長に実施の指示を出してもらえば、支部長と議論でぶつかり合うことなく教室を実現できると考えたからだ。連

盟長は実施をOKし、「詳細は支部長と相談を」と私に伝えた。その旨を支部長に報告すると、苦々しく感じている様子は伺えたが、あからさまな反対はせず、教室をスタートさせることができた。その時期、後任の水泳隊員がA市の支部に着任したため、指導は彼女と2人で行った。1カ月ほど経ち、私が任国外旅行に出ている間に問題は起こった。支部長は教室参加の申し込みに来た親子たちを門前払いしてしまったのだ。

私はA市に戻ると、関係性が崩れるのを覚悟でクラブの門戸を広げることの是非について支部長と話し合った。そこで初めて、彼女は過去にそれを試みたが、練習を継続できずに辞めていく子どもばかりだったため、門戸を広げるのは無意味だと考えていることを知った。結局、申込書に「がんばって継続する」旨を書いてもらうという条件で、教室への新規参加の受け入れを再開。門前払いした親子の元に足を運び、謝罪したうえで、あらためて教室への参加をお願いした。幸い、支部長との関係性はその後保たれたが、相手が彼女のようにおらかな人でなければ、活動継続の可能性が閉ざされてしまっただろうと反省した一件だった。

他隊員の分析

トップからボトムまでの納得感が不可欠

私は任地の既存の協同組合について情報を得る際に、トップダウンの力を利用すればスムーズにいくだろうと考え、配属先である郡庁から郡に次ぐ行政区分である「セクター」の役所に、協同組合の情報の提供依頼を出してもらいました。しかし、応じてくれないセクターもありました。トップの心をつかみ、トップダウンの力を使えば物事を進めるきっかけにはなると思いますが、しかしそれだけですべてがうまくいくわけではなく、ボトムにいる人たちにも意見を聞くなどして、トップからボトムまで、関与するすべての人へのフォローを丁寧にし、皆に納得感を持ってもらう必要があるのだと学びました。

文＝協力隊経験者

- アフリカ・コミュニティ開発・2014年度派遣
- 活動概要：郡庁に配属され、協同組合の設立・運営を支援。

「ボトム」のエンパワーメント

協力隊員が現地に変化をもたらすうえで、トップダウンの力を使わなければならないケースはあると思います。私は算数授業の支援を行っていた小学校で、現地の先生が行う授業が学級崩壊の状態になってしまうことがあったため、校長にその解決策のアイデアを伝えたところ、校長が先生たちにそれを伝えてくれました。しかし、すぐには改善につながりませんでした。そこで、良い授業を行っている先生の授業の写真をSNSでほかの先生たちと共有したところ、彼らの改善への意欲が高まりました。ボトムのエンパワーメントをしてこそ、トップダウンの戦略が生きていくのだと感じました。

文＝協力隊経験者

- 中南米・小学校教育・2018年度派遣
- 活動概要：小学校に配属され、算数教育の質向上を支援。



A市で開いた短期水泳教室の様子



PROFILE

1992年生まれ、埼玉県出身。学生時代は競泳やトライアスロンの選手として活躍。大学卒業後、メーカー勤務を経て2018年1月に青年海外協力隊員としてカンボジアに赴任。20年1月に帰国。

活動概要

カンボジア水泳連盟に派遣され、主に以下の活動に従事。

- 首都の水泳クラブでの指導
- 地方都市の水泳クラブでの指導
- 地方都市での水泳の普及

派遣人数は少ないもの
いぶし銀の活躍をする
職種の事例をピックアップ

#H109

診療放射線技師

派遣中 ▶ 0人

累計 ▶ 82人

分類 ▶ 保健・医療

活動例 ▶ 病院の放射線科で患者へのサービスの質の向上などを行う

類似職種 ▶ 医療機器

※人数は2021年3月末現在。



配属先で行われたレントゲンの撮影技術に関する実習授業の様子

#G156

教育行政・学校運営

派遣中 ▶ 0人

累計 ▶ 232人

分類 ▶ 人的資源

活動例 ▶ 学校の管理職を対象に組織運営に関する指導を行う

類似職種 ▶ 小学校教育

※人数は2021年3月末現在。



エジプト・日本学校で現地教員に見てもらいながら算数授業を実践する太郎良さん

PROFILE

1986年生まれ、大阪府出身。専門学校で診療放射線技師の資格を取得した後、大阪市立大学附属病院と医療法人南労会紀和病院に診療放射線技師として勤務。2018年10月、青年海外協力隊員としてボリビアに赴任（現職参加）。20年3月に一時帰国し、その後任期を終え、南労会紀和病院に復職。

活動概要

日本・ボリビア国立医療従事者養成校（コチャバンバ県コチャバンバ市）に配属され、主に以下の活動に従事。
●レントゲン・CT・MRI・マンモグラフィ・放射線防護など診療放射線技術に関する授業の実施
●教科書の改訂に際してのアドバイス



話
ききがわ えみ
笹川恵美さん
（ボリビア・2018年度2次隊）

Q どう対応しましたか？
マンモグラフィの撮影技術のマニュアルを作成する一方、技術の継承を担

Q 活動での最大の困難は？
ボリビアの病院ではマンモグラフィの撮影技術のレベルが非常に低かったため、配属先でその教育水準を高めるための支援をすることが最大の困難でした。病院の医師たちから医療従事者の養成機関に要望を上げてもらうのが近道でしたが、彼らの認識も十分ではなく、私の拙い語学力でどこが問題なのかを彼らに適切に伝えるのは容易ではありませんでした。

Q メインの活動は？
配属先は医療従事者を養成する学校の診療放射線技師のコースで、主な活動は専門技術を教える授業を行うことでした。配属先にはレントゲンやマンモグラフィの機器はありませんが、CTやMRIの機器はボリビアの病院の一部に導入されていたことから、私が帰国した後も同僚教員や学生たちが参考にできるような資料を残そうと、CTやMRIについて機器に触れたことがない人でもわかりやすいような教材の作成に力を入れました。

Q 同職種の後輩隊員にメッセージをお願いします。
診療放射線に関しては、協力隊員の配属先ではおそらく日本で一般的なもののより何世代も前の機器しかなかったり、放射線の被曝の影響についての教育が不十分であったりするケースが多いのではないかと思います。そうした状況のなか、慣れない外国語を使って専門技術を伝える活動は困難の連続になるはずですが、もっとも大きな困難は、与えられたマニュアルに従って作業を行えば良いという意識を変えることだと思います。「どのような理由で、そのように検査を行わなければならないか」への理解がなければ、よりよい検査技術は身に付きません。日本の診療放射線技師の最大の強みは、「作業のロジック」を現場でしっかりと身につけていく点にあると思います。それをぜひ、活動の対象者に伝え、より良い検査方法を自分の頭で考え、実践していくきっかけづくりをしていただければと思います。

Q 同職種の後輩隊員にメッセージをお願いします。
診療放射線に関しては、協力隊員の配属先ではおそらく日本で一般的なもののより何世代も前の機器しかなかったり、放射線の被曝の影響についての教育が不十分であったりするケースが多いのではないかと思います。そうした状況のなか、慣れない外国語を使って専門技術を伝える活動は困難の連続になるはずですが、もっとも大きな困難は、与えられたマニュアルに従って作業を行えば良いという意識を変えることだと思います。「どのような理由で、そのように検査を行わなければならないか」への理解がなければ、よりよい検査技術は身に付きません。日本の診療放射線技師の最大の強みは、「作業のロジック」を現場でしっかりと身につけていく点にあると思います。それをぜひ、活動の対象者に伝え、より良い検査方法を自分の頭で考え、実践していくきっかけづくりをしていただければと思います。

Q 同職種の後輩隊員にメッセージをお願いします。
診療放射線に関しては、協力隊員の配属先ではおそらく日本で一般的なもののより何世代も前の機器しかなかったり、放射線の被曝の影響についての教育が不十分であったりするケースが多いのではないかと思います。そうした状況のなか、慣れない外国語を使って専門技術を伝える活動は困難の連続になるはずですが、もっとも大きな困難は、与えられたマニュアルに従って作業を行えば良いという意識を変えることだと思います。「どのような理由で、そのように検査を行わなければならないか」への理解がなければ、よりよい検査技術は身に付きません。日本の診療放射線技師の最大の強みは、「作業のロジック」を現場でしっかりと身につけていく点にあると思います。それをぜひ、活動の対象者に伝え、より良い検査方法を自分の頭で考え、実践していくきっかけづくりをしていただければと思います。

PROFILE

1948年生まれ、福岡県出身。私立高校や公立中学校に数学科教員として勤務した後、公立中学校の教頭・校長、市教育委員会の指導主事・人事管理主事（教育事務所配属）などを歴任。定年退職後、市教育委員会の指導主幹、バンコク日本人学校の数学科教員（シニア派遣教員）を経て、2018年1月にシニア海外協力隊員としてエジプトに赴任。20年1月に帰国。

活動概要

カイロ県教育局に配属され、10校のランゲージ・スクール（*1）と3校のエジプト・日本学校（*2）を巡回し、主に以下の活動に従事。
●特別活動（*3）など日本式教育の導入の提案とその支援
●算数授業の改善に向けた支援



話
たろうら みつお
太郎良光男さん
（シニア海外協力隊員／エジプト・2017年度3次隊）

Q どう対応しましたか？
有効だった対応策はいくつかありましたが、その1つは、私が提案することの意義をできるだけ「見える化」することです。例えば、机の配置を教

Q 活動の最大の困難は？
巡回先の学校の教育課程や文化が日本の学校のものとは異なっていたため、現地の先生たちが日本で行われている特別活動や教科指導の方法についての知識を持っていないなか、まずは彼らにそれらへの興味を持ってもらうことに苦労しました。

Q メインの活動は？
ランゲージ・スクールやエジプト・日本学校を巡回し、日本式教育の良い点の導入を支援することです。例えば、学級活動や校内清掃などの特別活動の導入、子どもたちの作品で教室や校舎の掲示を充実させる方法、子どもたちの机を班ごとに向き合う配置からすべてを教壇に向けた配置とするなど学習形態別配置などについて、日本の学校での行われ方を紹介しながら実践をフォローしました。また、算数授業の改善に向け、学習規律の徹底や能動的な学習方法であるアクティブ・ラーニングの取り入れ方を現地の先生に知ってもらうため、私が授業を行って見てもらう活動も行いました。

Q 同職種の後輩隊員にメッセージをお願いします。
協力隊員が活動する学校の校長たちは、先生としての豊かなキャリアを持つている方が大半だと思います。そのため、校長に対しては、相手のプライドを傷つけないよう配慮することが大切だと思います。まずはその学校の良い面を見つけ、伝える。そのうえで、課題と判断したことを挙げ、その具体的な解決策を提案する。その提案を受け入れてくれたかどうか必ず確認し、もし実際の改善につながった場合は、それに対する評価を伝える。そうしたこまめなやりとりが重要だというのが、私が協力隊経験を通じて得た実感です。

Q 同職種の後輩隊員にメッセージをお願いします。
協力隊員が活動する学校の校長たちは、先生としての豊かなキャリアを持つている方が大半だと思います。そのため、校長に対しては、相手のプライドを傷つけないよう配慮することが大切だと思います。まずはその学校の良い面を見つけ、伝える。そのうえで、課題と判断したことを挙げ、その具体的な解決策を提案する。その提案を受け入れてくれたかどうか必ず確認し、もし実際の改善につながった場合は、それに対する評価を伝える。そうしたこまめなやりとりが重要だというのが、私が協力隊経験を通じて得た実感です。

Q 同職種の後輩隊員にメッセージをお願いします。
協力隊員が活動する学校の校長たちは、先生としての豊かなキャリアを持つている方が大半だと思います。そのため、校長に対しては、相手のプライドを傷つけないよう配慮することが大切だと思います。まずはその学校の良い面を見つけ、伝える。そのうえで、課題と判断したことを挙げ、その具体的な解決策を提案する。その提案を受け入れてくれたかどうか必ず確認し、もし実際の改善につながった場合は、それに対する評価を伝える。そうしたこまめなやりとりが重要だというのが、私が協力隊経験を通じて得た実感です。

*1 ランゲージ・スクール…英語などアラビア語以外の言語の教育に重きを置く公立学校。 *2 エジプト・日本学校…JICAの財政支援を受けて開校された、日本式教育の実践を目指す公立の初等教育機関。
*3 特別活動…教育の一環として取り入れる、「学級活動」「日直」「掃除」などの教科外活動。



スマホ撮影術をブラッシュアップ③

ナビゲーター = 東海林美紀さん
(ニジュール・エイズ対策・2006年度3次隊)

スマホ撮影術～撮影した写真の編集とシェア～

スマホカメラで写真を撮影する場合、気をつけていても写真が明る過ぎたり暗過ぎたり、構図が斜めになってしまったりすることはよくあると思います。デジタルデータの写真は少し編集するだけで印象を格段に良くすることができますが、撮影した写真をアプリで手軽に編集できる点が、スマホカメラの特長のひとつです。

スマホで写真を編集する方法は大きく分けて2つあります。撮影の際に各種編集を自動で行うアプリのフィルタをあらかじめかけておく方法と、撮影した写真を後からアプリで編集する方法です。前者は少ない手間です済みますが、写真ごとの難点に応じた細かな編集ができません。そこでここでは、後者の方法をご紹介します。活動報告で見せる写真や誰かに贈る写真など、「これぞ」という写真を厳選し、少し手間をかけてより良い印象のものに仕上げる「お化粧」に活用してみてください。

①編集する写真をピックアップ

編集の対象とする「これぞ」という写真を別個のフォルダに選り分けておくと、その後の作業がはかどります。そのために便利なのが、iPhoneの場合は「お気に入りフォルダ」です。保存されている写真を「写真アプリ」で開き、下部にあるハートマークをタップすると、その写真が「お気に入りフォルダ」に格納されます。この操作により、編集したい写真だけを「お気に入りフォルダ」に集めておくことができます。「お気に入りフォルダ」に格納した写真は、「写真アプリ」を立ち上げ、下部の「アルバム」をタップするとたどり着くことができます。

②便利な一括編集の「自動補正」と「フィルタ」

ここではiPhoneの操作をご紹介しますが、Androidでも基本は同じです。それぞれの写真の状態を踏まえ、明るさや色などを総合的に補正してくれるのが「自動補正」の機能で、おおまかな方向性を直すにはこの機能が便利です。「お気に入りフォルダ」に格納した編集対象の写真を開き、下部の「調整」(機能の大

項目のひとつ) →その上の「自動」(機能の小項目のひとつ)を順にタップすると、自動補正が施されます。開いた写真の下部にある「フィルタ」(機能の大項目のひとつ)をタップすると、「ビビッド」「ドラマチック」(いずれも機能の小項目)などさまざまな方向性で雰囲気を変える一括の加工をワンタッチで行うこともできます。



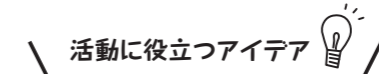
③項目ごとの手作業の編集

「傾き」や「明るさ」など、アプリで個別に調整できる項目は各種ありますが、どれも細かな調整が容易にできます。以下にその主な項目をあげました。慣れるまでは、一部の項目を重点的に調整して要領をつかむのが良いかもしれません。

調整の対象	アプリの機能(大項目)	アプリの機能(小項目)	概要
明るさ	調整	露出 明るさ	明る過ぎや暗過ぎを補正します。
明瞭度	調整	シャープネス 精細度	被写体の輪郭をはっきりとさせたり、全体的にくっきりとさせたりします。
色	調整	彩度 自然な彩度 暖かみ 色合い	「顔が健康的な印象になる」など、色の補正で被写体の印象を変えます。
構図	傾き補正	角度 反転(左右・上下)	被写体の傾きを補正したり、自撮りでの左右の反転を元に戻したりします。

④シェアする

メールに添付しての送信、SNSやクラウドサービスでのアップロードなど、撮影した写真を各種方法でほかの人に共有することが容易にできるのもスマホならではの。スマホカメラで撮った写真はそのままになってしまうことが多いと思いますが、写っている任地の方々にその写真を送ってあげれば、コミュニケーションをより豊かにする手段にもなるかと思えます。



ボッチャ入門①

ナビゲーター = 浅見明子さん
(ネパール・障害児・者支援・2017年度1次隊)

ボッチャとは、直径8センチほどの自球を転がし、最初に転がした同じ大きさの的球にどれだけ近い位置に残せるかを競うスポーツで、「陸上のカーリング」とも呼ばれます。重度脳性麻痺者などのために欧州で考案されたものですが、障害の有無や年齢を問わず楽しめるルールとなっており、道具は手づくりが可能であるため、障害者施設や高齢者施設のアクティビティとして、あるいは障害者と健常者が交流する手段として、協力隊員の活動のツールになることと思います。そこで、ボッチャの概要を3回に分けてご紹介します。興味を持った方は、日本でボッチャの振興に取り組む一般社団法人日本ボッチャ協会のウェブサイト(右のQRコード)などで競技の詳細をご確認ください。



浅見さんが協力隊時代に運営に携わったボッチャ大会



ボッチャの基本事項

①主な道具

- ▶ボッチャボール(上写真)
 - ・的球=白色(1個)
 - ・自球=赤色6個(先攻用)と青色6個(後攻用)
- ▶キャリパー(上写真)
 - 的球と自球の間の距離を測るために使用。ほかにメジャーなども使う。
- ▶ランプ(中写真)
 - 障害の度合いによっては自球を転がすために使うことができる補助具。
- ▶パドル(下写真)
 - 審判が投球の順番を示す道具。片面が赤色、反対の面が青色になっている。



②ルール

ボッチャはパラリンピックの正式種目にもなっており、公式の

国際大会では以下のようなルールが定められています。

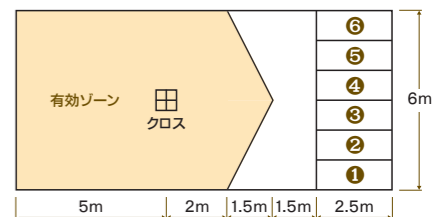
▶競技クラス

脳原性疾患(脳に起因する脳性麻痺などの疾患)の有無などにより4つの競技クラスが設けられており、障害の度合いによってさまざまな自球の転がし方が認められています。

- ・手で転がす
- ・足の指でつまんだり蹴ったりして転がす
- ・ランプを使う
- ・競技者の指示により車椅子やランプの向きを調節する「アシスタント」(コートを見ることはできない)を使う

▶コート

右は国際大会のサイズです。公式の大会でなければ、会場の状況によって小さなものにアレンジしても実施可能です。



▶競技形態

シングルス(4エンド制)・ダブルス(同)・団体戦(3人対3人・6エンド制)があります。

▶試合の流れ(団体戦の場合)

- ・選手が1人2個ずつ自球を持ち、先攻の選手が①③⑤、後攻の選手が②④⑥につく。
- ・先攻のいずれかの選手が的球を転がす。
- ・的球を投げた人が自球を転がす。
- ・後攻の誰かが自球を転がす。
- ・以後、転がした自球が的球にもっとも近い位置にあるチームではないほうのチームの誰かが自球を転がす。
- ・新たに転がす自球は、すでに転がされた球に当てても構わない。的球が有効ゾーンから外れたら、クロスの中心に置き直す。
- ・各エンドの勝者は、的球にもっとも近い位置に自球が残ったチーム。勝者の自球のうち、「敗者の自球のなかで的球にもっとも近い球」よりの球に近い球の数が、そのエンドの勝者の得点となる。エンドの得点の合計が高いチームが試合の勝者。
- ・エンドごとに先攻・後攻が入れ替わる。



JICA Volunteers!
before ▶ after 人生を変えた2年間

before
ソフトウェア会社の社員

after
障害児・者の支援を行う会社の社員



勤務先の就労移行支援事業所で、社員を対象に現行のカリキュラムをより有効に活用する手法を説明する淡島さん(右)

「淡島さんのプロフィール」

ウェルビー株式会社	JICA Volunteer			before		
	after	2017	2016	2015	2011	1987
設立: 2011年 本部所在地: 東京都中央区 事業内容: 障害者を対象とする就労移行支援事業や就労定着支援事業、障害児を対象とする放課後等デイサービス事業など ウェブサイト:	4月、ウェルビー株式会社に入社。就労移行支援事業所に配属	1月、帰国	3月、青年海外協力隊員としてマラウイに赴任(振替派遣)	10月、情勢悪化により帰国 1月、青年海外協力隊員としてバングラデシュに赴任	4月、ソフトウェア会社に入社 3月、立命館アジア太平洋大学を卒業	5月生まれ、熊本県出身

2カ国での協力隊活動を通じて、パソコンのスキルが障害者の生き方の可能性を広げると実感。障害者へのパソコン指導をしていることに着目して応募を決めた就職先だった。

勤務先の先輩から、退社して協力隊に参加した体験談を聞いたことがきっかけとなり、それまでに業務で蓄えたパソコンのスキルが生かせると考えて協力隊への参加を決意した。

ソフトウェア会社に勤務した後、退職して協力隊に参加した淡島さん。視覚障害児や聴覚障害児にパソコンスキルを教えたことが転機となり、帰国後は障害児・者の支援に取り組む会社で働くことを選択した。

身体障害児へのパソコン指導

海外への興味から、大学は学生の半数近くを留学生が占める立命館アジア太平洋大学に進学。就職活動も海外にかかわる仕事ができる会社を狙ったが、就職難の真只中だったこともあり苦戦。歯科医向けのソフトを開発・販売する会社に就職し、ソフトの購入者に対して方を教える業務などに携わった。

転職は就職して3年ほど経ったところに訪れた。淡島さんの勤務先を退職して協力隊に参加した先輩にその体験談を聞く機会があり、自分もそれまでに身につけたパソコンスキルを協力隊員として生かしてみたいと思うようになった。勤務先を退職して参加した協力隊で派遣されたのはバングラデシュ。職種はPCインストラクターで、視覚障害児が通う小学校から高校までの一貫校でパソコンの授業を行うことが要請内容だった。希望した案件ではなかったが、「障害」という未知の領域

社会と障害児・者が共に努力

マラウイ・PCインストラクター・2015年度派遣

淡島祐里さん(旧姓・前田)



視覚障害児にタイピングの指導をする協力隊時代の淡島さん

わからない早さで技術を習得していった。

多様性の維持に必要な手間

淡島さんが2カ国での協力隊活動を経験して強く感じたのは、パソコンは障害者が抱えるコミュニケーション上の難点をカバーするツールとなり、彼らが健常者と同じ土俵で社会活動を行うことを可能にするものであるということだ。例えば、マラウイに赴任してまもない時期、英語の手話がまだわからないなかで、教え子たちには授業の感想をパソコンに打ち込んで伝えてもらうことができた。

そうして淡島さんは帰国後の就職活動で、障害児・者にパソコンスキルを教える仕事ができそうなる人を中心にリサーチ。そのなかで見つけたのが、現在勤務するウェルビー株式会社だった。放課後等デイサービス事業や就労移行支援事業、就労定着支援事業など、障害児・者を支援する事業を手広く行う企業

への挑戦に期待はふくらんだ。

パソコンに詳しい教員がおらず、パソコンの授業は淡島さんに一任された。視覚障害がある人は、画面上のテキストを音声化するソフトでタイピングの練習をするのが通常で、そうしたソフトは配属先にもあった。それを使って基本操作を習得させるのが授業の第一歩だったが、指導の要領をつかむまでは手探りが続いた。弱視から全盲まで、教え子の障害の程度には幅があった。全盲の子は個別の指導が必要だが、キーボードがある程度見える弱視の子は課題をすぐに終え、手持ち無沙汰になってしまう。そうしたなか、弱視の子には追加で「好きな音楽の歌詞のタイピング」をさせるなど、障害の程度に応じて課題のボリュームを変えることで、子どもたちが学習意欲を失うのを防いだ。

赴任の10カ月後、バングラデシュの情勢悪化により一時帰国。振替派遣で着任したのは、聴覚障害児が通うマラウイの特別支援学校だ。活動はやはりパソコンの授業を行うこと。担当の教員を配置してもらえたことから、淡島さんが教材をつくり、同僚教員がそれを使って手話で授業を行うという役割分担ができた。基本操作の指導から授業を始めたが、視覚障害児とは違い、子どもたちは健常者と変

である。入社後に配属されたのは、就労移行支援事業などを行う施設。利用者は主に精神障害がある人で、一般企業への就職に必要なスキルの指導、就職活動や就職後の職場定着のフォローなどを行う。淡島さんは専門性を生かしたパソコンスキルの指導を含め、直接利用者と接する立場で、入所から職場定着までの一連の支援を担当してきた。

ウェルビーでかかわることが多い精神障害者には、「コミュニケーションが苦手」「気分の浮き沈みが激しい」など、協力隊時代にかかわった身体障害児にはない生活上の困難があり、それらへの適切な対応は一から学ばなければならなかった。しかし一方で、協力隊経験で得たものが確実に生きていてと感じる点もある。社会が多様性を持つためには一定の「手間暇」が必要であるという覚悟だ。全盲と弱視の子どもに同時に対応した経験などから、対象者の障害の種類や程度に応じてきめ細かく対応方法を調節していくことが、どれほど手間がかかる作業であっても障害者を支援するうえで不可欠であると学んだ。そのため帰国後の仕事でも、施設の利用者の個々の状態を見極め、それらに応じた支援を考えるという姿勢を貫くことができていた。

さまざまなタイプの障害児・者の支援に携わるなかで淡島さんが感じてきたのは、それぞれ潜在的な長所があり、社会はそれが発揮できるようにしなければならないこと、および障害児・者自身もそうした能力を發揮するための努力をしなければならないことだ。社会と障害児・者の双方の努力で初めて可能な「多様性がある社会」の実現に向け、淡島さんはまだ奮闘を続けるつもりだ。

*1 放課後等デイサービス事業…児童福祉法にもとづいて国の財政支援がなされる、障害児への自立支援サービス。

*2 就労移行支援事業…障害者総合支援法にもとづいて国の財政支援がなされる、障害者への就労支援サービス。

*3 就労定着支援事業…障害者総合支援法にもとづいて国の財政支援がなされる、障害者の就職先の定着を支援するサービス。

よもぎま話

「日本社会への復帰」や「進路開拓」、「協力隊経験の生かし方」など、協力隊員の「帰国後」について、O・B・O・Gに語り合ってもらいます。



【座談会参加者】

Cさん(女性)

【派遣前】
水族館の職員
【協力隊】
▶退職参加
・環境教育
・中南米
・2017年度派遣
▶市役所に配属され、環境教育手法の紹介などに従事
【現在】
水族館の職員

Bさん(男性)

【派遣前】
メーカーの社員
【協力隊】
▶現職参加
・環境教育
・アジア
・2016年度派遣
▶環境行政機関に配属され、ゴミに関する啓発などに従事
【現在】
メーカーの社員(復職)

Aさん(男性)

【派遣前】
ネイチャーガイドなど
【協力隊】
▶退職参加
・環境教育
・中南米
・2016年度派遣
▶郡役所に配属され、地域住民へのコンポストに関する普及啓発などに従事
【現在】
エコツアーの開発・実施などを行う団体の職員

A 派遣前は大学で野生動物の研究をしていました。協力隊は退職しての参加で、郡役所に配属されてコンポストの作成や活用を促進する活動などに取り組みました。帰国後は、国内外でエコツアーの開発などを手がける団体に就職し、エコツアーや*グランピングの開発・実施などに携わっています。

B 大学と大学院で学んだのは化学です。メーカーで管理業務に携わった後、協力隊に現職参加しました。協力隊時代の主な活動は、学校や地域でゴミについての啓発を行うことです。帰国すると、まずは派遣前の部署に復職し、その後海外への事業展開を担当する部署に異動となって現在に至ります。昨年から、SDGsへの取り組みを企画する部署横断のプロジェクトにも参画しています。

C 大学では社会心理学を学んだのですが、子どものころから持っていた水生動物への興味が一向に冷めなかつたため、卒業後は水族館に就職し、ペンギンの飼育員として働いていました。仕事はおもしろく、協力隊は現職参加したかったのですが、勤務先に「前例がない」と言われたため、退職して参加しました。協力隊では市役所に配属され、同僚への環境教育手法の紹介などに取り組みました。帰国後はいったん動物園の飼育員として働いた後、派遣前に勤務していた水族館に再就職しました。現在担当しているのは、来館者に対して展示している動物の解説をするボランティアをコーディネートする業務です。

協力隊経験の発信

B 皆さんは退職しての参加ですが、再就職に苦労はなかつたのでしょうか。

の水生動物や活動、生活について館長に伝えていたからだと思います。私は帰国後、「日本人たちは協力隊経験にあまり興味を持っていない」と感じました。だからこそ、協力隊経験を生かせる場を得るためには、「こんな経験をしてきた」という情報を発信し続けることが必要なのかなと思います。

B それは協力隊活動にも似ていると思います。私は派遣国で、JICA専門家の方に「何に困っていますか」と相手の状況を聞くだけでは活動の機会は限定されてしまう。「自分はこういうことができます」とラインナップを示すことで初めて、「ならばこれやってほしい」と任せられる」といった趣旨のアドバイスをいただきました。実際、私はそれを実践して活動を見つけ出すことができました。

海外経験の生かし方

A 私は今後、アジアやアフリカで実施するエコツアー開発に従事する予定なのですが、これまでに携わってきたのは国内のエコツアーの開発や実施でした。それでも、国内のエコツアーの参加者には外国人観光客も多く、彼らへの対応や地域の方々のやりとりは、やはり協力隊員として現地の方と深くかわってきた経験がそのまま生きていると感じます。また、私の派遣国は日本よりエコツアーが進んでいる国だったので、派遣国のエコツアーに関する経験もエコツアーを開発するうえで参考になっています。

C 私もせっかく海外を経験したのだから、それを生かしたいという気持ちで帰国以来抱いています。現在勤務する水族館ではちょうどSDGsに関連するプロジェクトのアイデアを募っていたことから、外国人住民にも

A せっかく協力隊に参加したのだから、ネイチャーガイドの経験が生かせ、かつ何か国際色がある仕事が生かしたいと思って求人を探したのですが、なかなか見つかりませんでした。そうしたなかで知人が教えてくれたのが、現在の勤務先です。代表者は、地域づくりの側面を重視したエコツアーの開発で世界的に評価を受け、国内外で事業を請け負ってきた人です。求人は出ていなかったのですが、話だけでも聞いてもらいたいと思ったので、思い切って電話を掛けてみたところ、代表者と面談させてもらうことができました。野生動物の勉強をしてきたこと、協力隊を含むこれまでのキャリア、野生動物に関する仕事がしたいことなどを伝えたと、当時請負先の公募が出ていた国内のエコツアーを開発する案件について、私が外部アドバイザーとなる企画書を書く機会を与えてもらいました。幸いこれを受注できたため、実際に外部アドバイザーとしてその事業に携わらせてもらいました。そこでおそらく私の品定めがなされ、その後職員として採用してもらうことができました。

B 自分で仕事を取ってきて採用を勝ち取るといのはすばらしいですね。企画提案書を書いた経験はあったのでしょうか。

A 仕事ではあまり経験がなかつたのですが、協力隊時代の私の配属先では、新たな活動を始める際、口頭で上司に許可を求めるだけではだめで、企画書をまとめ、市長までの決裁を取り付けなければなりません。上司にさんざん直されながら書き方の要領をつかんでいったのですが、その経験が生きたのかなと思います。

B 私は帰国後に海外事業の部門に異動しましたが、Aさんのように自ら道を切り開いていくことはしていませんでした。

楽しんでもらいたいやすい水族館にするというプロジェクトを提案したところ、採用してもらうことができました。日本の水族館は、解説文に添える外国語は英語だけというのが一般的です。しかし、日本の外国人住民が多いのはブラジル人や中国人、ベトナム人など英語以外を母語とする人たちです。そこで、解説文に「やさしい日本語」の表記を付け加えることをまずは始めています。この企画を発想できたのは、私自身が協力隊時代に外国人として暮らす経験をしたからこそだと思います。水族館の職員のなかで海外経験者は希少なもので、しばらくはその強みを生かした仕事に注力していきたいと考えています。

B 海外事業部門に異動してから担当してきたのは、海外展開を日本で企画・管理するバックオフィスの業務であり、皆さんのように外国人と接する機会が多くありません。しかしそれでも、協力隊経験が生かせる業務だと感じます。海外への事業展開には、その国の社会や歴史、文化、国民性などを把握することが前提となりますが、その検討の要領を協力隊員活動のなかで身に付けることができたからです。そうした協力隊経験の財産を、与えられた今のポストで生かせるよう、今後も試行錯誤しながら努めていきたいと思っています。

A ある国を把握するという点では、現地の人と共に暮らさなければわからない「国民性」などを把握する力、「現場力」とでも言うべきものが磨かれたことが、協力隊だからこそ。の財産だと私は感じています。これから携わる予定の海外での事業では、それを生かしながら、現地にしつかり定着するようなエコツアーの開発ができたらと考えています。

【C】

C 私が帰国後、派遣前に勤務していた水族館に再就職させてもらうことができたのも、アピールとなるようなことをしていたからでした。帰国して最初に就職した動物園は、たまたまその時期に求人が出ていたので応募したのですが、働くなかでやはり私は水生動物が好きなのだとあらためて気づき、また水族館で働きたいと思うようになりました。しかし、現在の勤務先は当時求人を出していなかったため、館長に直接連絡をとってみました。すると、しばらくしたらボランティアコーディネーターが1人必要になるかもしれないという情報ももらうことができ、実際にそのポストで再度雇用してもらうことができました。館長にそうしたやりとりに応じてもらえたのは、派遣中に現地

* グランピング…「glamorous」と「camping」を組み合わせた言葉。道具や食材などを持参するのではなく、あらかじめ用意されたものを使うことで気軽に楽しめるようにしたキャンプ。

「派遣国」や「職種」など、何かしらの共通項を持つ協力隊経験者によって構成するOB・OG会を、シリーズで紹介していきます。

シリアOV会

会の目的

- シリアに関心を持つ人たちの間の親睦を図る
- 日本で暮らすシリア人との交流、および彼らに必要な支援を行う



2018年の協力隊まつりに出展したブースと当会のメンバー。シリアの特産品などを販売した

Outline

正式名称	シリアOV会
設立時期	2017年
法人格	任意団体

Organization

代表者	桑田和幸(シリア海外ボランティア/シリア・品質管理・2008年度3次隊)=会長代行
会員数	約100人
入会資格	■JICA海外協力隊員やJICA専門家としてシリアに派遣された経験がある人 ■JICAシリア事務所に勤務した経験がある人 ■運営委員会で入会を認められた人など
会費	なし

Management

最高意思決定機関	会員総会
会員総会の頻度	毎年8月に開催
定例会の頻度	月に1回
会員・役員間の主な連絡手段	Web会議

Contact

問い合わせ窓口	■syriaov_admin@googlegroups.com ■https://www.facebook.com/シリアov会-265028627351777
情報発信の手段	https://www.facebook.com/シリアov会-265028627351777

日本政府は2017年より、シリア危機で就学機会を奪われたシリア難民の若者を留学生として受け入れる事業「シリア平和への架け橋・人材育成プログラム」を開始。それを受け、シリア人留学生への支援を行うことを目的に設立されたのが当会だ。協力隊員としてシリアで活動した人だけでなく、シリアに関心を持つ人を幅広く会員として受け入れており、会員数は約100人。

設立以来、シリア人留学生への日本語の指導や勉強のサポートなどを活動の中心としてきた。また、彼らとの親睦を深めるため、年に2、3回のペースで散策交流会を開くなどしてきたが、コロナ禍に入ってからオンラインで交流する機会を設けるようになった。

現在、留学生として日本で暮らすシリア人は約100人。居住地は全国に広がっている。当会はこれまで首都圏での活動が中心だったが、オンラインのコミュニケーションが普及したのを好機として、今後は地方のシリア人留学生への支援にも力を入れていきたいと考えている。

「当会は運営や活動ができるだけオープンなものにするのを心がけています。会員の門戸は一般の方にも開いており、運営委員会の会合にはシリア人留学生にも参加していただいています。今後もさまざまな方の知恵と力をお借りしながら活動を進めていきたいと考えていますので、興味を持った方はぜひ、お気軽にお問い合わせください」(桑田会長代行)

富山県在住もしくは富山県出身のJICA海外協力隊経験者で構成する当会が設立されたのは1977年。これまで、国際交流イベントへのブースの出展、帰国した協力隊員が体験談を発表する会の開催など、国際協力やJICAボランティア事業に対する地域住民の理解を促す活動を中心としてきた。

2021年に入ってから、コロナ禍の影響などで困っている県内の外国人住民を支援する催し「わかちあいひろば」を、県内で協力隊経験者が主宰するNGOと共同でスタート。射水市役所の市民開放スペースでこれまでに2回開催した。射水市と協力しながら外国人住民からの相談に応じるコーナーを設ける一方、食料や生活用品などの物資を経済的

に困っている外国人住民に配布するというのが、催しの主な内容だ。支援物資は県内外の協力隊経験者などに寄贈してもらった。当日は、外国人住民への今後の支援策を検討するため、参加した外国人住民に現状についてのヒアリングも行った。開催にあたっては、協力隊経験者たちの協力を得て「やさしい日本語」と外国語6言語の広報用チラシを作成。計80人ほどの外国人住民に参加してもらったことができた。

「一昨年に事務局の体制を強化したため、『わかちあいひろば』のように手間がかかる活動もできるようにになりました。今後も、協力隊経験者だからこそ果たせる役割を考えながら、地域の発展に寄与していきたいと思っています」(井上代表)



①帰国した隊員が体験談を発表する当会主催のオンラインイベント ②「わかちあいひろば」での支援物資の配布 ③「やさしい日本語」で書いた「わかちあいひろば」のチラシ

青年海外協力隊 富山県OB会

会の目的

- JICAボランティア事業を支援する
- 富山県内のJICA海外協力隊経験者の親睦を図る

Outline

正式名称	青年海外協力隊富山県OB会
設立時期	1977年
法人格	任意団体

Organization

代表者	井上純子(日系社会青年ボランティア/バラグアイ・日系日本語学校教師・2002年度派遣)
会員数	約400人
入会資格	富山県在住もしくは富山県出身のJICA海外協力隊経験者
会費	3000円/年

Management

最高意思決定機関	会員総会
会員総会の頻度	毎年5～6月に開催
役員会の頻度	半年に1回程度
会員・役員間の主な連絡手段	Web会議、メール、リスト

Contact

問い合わせ窓口	■info@jocv-toyama.jp ■076-464-3501 ■https://www.facebook.com/jocvtoyama/
情報発信の手段	■https://www.facebook.com/jocvtoyama/ ■http://jocv-toyama.jp

先輩隊員の シューカツ記

先輩隊員たちが振り返る
就職活動の記録。

今月の業種：
民間企業
(コンサルティング業)

就職先：

株式会社薬ゼミ情報教育センター

事業概要：薬局経営のコンサルティング、医療系企業の海外展開支援、医療人材の育成など

略歴

- 2013年3月、東邦大学薬学部を卒業
- 2013年4月～、薬剤師として急性期病院に勤務
- 2017年7月、青年海外協力隊員として東ティモールに赴任
- 2019年7月、帰国
- 2019年10月、薬ゼミ情報教育センターに入社

協力隊時代の活動を教えてください



同僚(右端)と共にへき地の村で医療支援活動を行う協力隊時代の巻嶋さん

バウカウ県の県病院に配属され、服薬指導、代替医薬品の活用などによる医薬品不足への対策の支援、5S活動の支援などに取り組みました。院外では、へき地の村での医療支援活動や、大学の薬学部生への講義なども行いました。

今月の先輩隊員：巻嶋孝明さん

出身地：千葉県

職種：薬剤師

生まれた年：1988年

派遣国：東ティモール

任期終了時年齢：30歳

隊次：2017年度1次隊



現在の所属先：国際事業部

ベトナムで薬剤師国家試験の導入を支援する事業、薬剤師を対象とする日本国内での研修事業、新規事業の開発などを担当してきました。

「株式会社薬ゼミ情報教育センター」ウェブサイト
▶ <http://www.yakuzemi-support.com>

協力隊経験を応募書類にどう表現しましたか？

私は協力隊時代に大学の薬学部生への講義をした経験から、医療人材の育成への関心が高まりました。現在の勤務先は国内外で薬剤師の育成を行うことが事業の柱の1つであり、それに携わりたいと思ったのが主な応募動機でした。そのため、提出した応募書類にはそうした思いを率直に記しました。

協力隊経験を採用面接でどう表現しましたか？

東ティモールでは、WHOが必須医薬品と定めているもののうち、日本ではすでに販売停止となっているものも使われていました。そうした医療現場の体験を通じて医薬品についての視野が広がったことなど、協力隊活動で得た成長を中心に話しました。

現在の仕事のやりがいを教えてください

担当するプロジェクトで成果が出たときには、やはりやりがいを感じます。ベトナムで薬剤師国家試験の導入を支援するプロジェクトは、同国の保健省と2つの薬科大学がカウンターパート機関でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で3機関とのやりとりはオンラインで進めなければなりませんでしたが、しかしそうしたなかでも、国家試験の試行版となる2大学共通のテストの実現に漕ぎ着けることができ、達成感を味わうことができました。

今後の抱負をお願いします

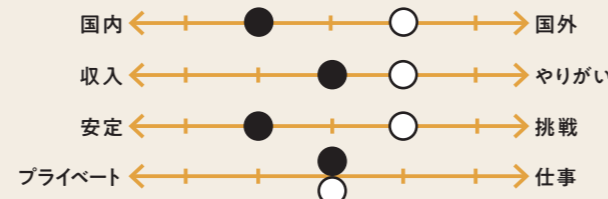
まずは引き続き与えられた業務に励み、多くの案件を任せてもらえるようになりたいと考えています。また、専門性をさらに高めるため、大学院で学ぶチャンスを見つけたとも考えています。

自己分析

強み	<ul style="list-style-type: none"> 日本の病院での臨床経験があること 途上国の病院での臨床経験や、途上国の医療品に関する知識があること
弱み	<ul style="list-style-type: none"> 修士号や博士号などの学位がないこと
資格	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師免許 日本糖尿病療養指導士の資格

仕事選びの今昔。重視したのは？

協力隊参加前=● 協力隊参加後=○



就活の方針は？

薬剤師の専門性を生かせる国際協力の仕事の求人を探しましたが、なかなか見つからなかったため、まずは薬局などの求人に応募しました。しかし、あきらめるのはまだ早いと思い直し、保健・医療分野の国際協力事業を行っている企業に直接コンタクトを取り、採用の予定がある企業を見つけ出していました。

MESSAGE

求人情報を出していない企業に思い切ってコンタクトをとったことが、私の就職活動の大きな転機でした。思うような求人が見つからないという場合も、あきらめずに情報収集の仕方を工夫することが重要なだと実感しました。

応募…5社
書類選考通過…4社
内定…4社

内定

GOOD WAY!

人前で自分を表現することに慣れていなかったため、予想される質問の回答をあらかじめ考えてしっかり話せるよう練習したり、友人を面接官役に模擬面接をしたりと、事前準備を入念に行いました。それにより、本番は比較的落ち着いて臨むことができました。

面接

現在の勤務先の面接では「志望動機」「長所と短所」「協力隊経験がどのようなところで生かせるか」「仕事での失敗とそのリカバリーの経験」「マネジメント業務の経験」などについて聞かれました。面接では「準備した回答の棒読みにならないように」「聞かれたことにプラスアルファの情報を加えて回答する」「面接官と共に仕事をすることになったときに不信感を持たれないよう、飾らず自然体で臨む」の3点を心がけました。

GOOD WAY!

応募に向けて自分の協力隊経験を振り返るうえで役立ったのは、協力隊に応募した際に提出した書類や活動報告書です。どの応募先の場合も、提出する書類には協力隊経験での学びを詳しく盛り込みました。

書類審査

応募先に提出した書類は、履歴書、職務経歴書、志望理由書です。作成にあたって特に心がけたのは、興味を持って読んでもらえるよう、応募先の企業やその業界のことを徹底的に調べ、自分がどのような貢献ができそうかを具体的に記すことです。例えば、薬局に提出した書類では、周辺の医療機関について調べたうえで、その薬局が抱える課題について自分なりに分析し、それに対して私のそれまでの経験がどのように生かせるかを記載しました。

情報収集

当初はJICAの国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」や転職エージェントなどを利用して求人情報を集めました。しかし、薬剤師の専門性が生かせる国際協力の仕事の求人がなかなか見つからなかったため、大学時代の恩師や友人などから情報をもらい、めばしい企業があれば直接電話をかけ、採用の予定を尋ねました。現在の勤務先もそうしてコンタクトした企業のなかの1つです。

GOOD WAY!

調達情報を公開しているJICAのウェブサイトのページで、JICAの事業を受注した企業を確認できます。これは、保健・医療分野の国際協力事業を行う企業を探そうとて貴重な情報源でした。

就職!

帰国の3カ月後

帰国の2カ月後

帰国の1カ月後から

帰国

帰国の1カ月前から

シューカツ
START



JICA 海外協力隊ウェブサイト「帰国隊員の進路開拓についての相談受付」
▶ https://www.jica.go.jp/volunteer/obog/career_support/counselor/

※進路相談の対象は、青年海外協力隊および日系社会青年海外協力隊経験者のみとなります。
※カウンセラー/相談役により対応可能な日が異なりますので、あらかじめ電話またはメールでのご連絡をお願いします。



右：中南米諸国で学んだ野球の指導方法についてまとめた著書『高校球児に伝えたい！ラテンアメリカ式メジャー直結練習法』（東邦出版、2018年）。阪長さんは本書の内容や堺ビッグボーイズの指導方法について紹介する講演活動も精力的に行っている 左：堺ビッグボーイズの中学部の試合で選手にアドバイスをする阪長さん

堺ビッグボーイズ
中学部
監督

さかながともひと
阪長友仁さん

- コロンビア
- 野球
- 2007年度4次隊

「自分で考える力」を育てる 野球指導を実践

協力隊員として活動したコロンビアを含め、各国で野球指導に携わってきた阪長さん。そうした経験を通じてその重要さに気づいた「答えを押し付けられない指導」を、少年野球チームの監督として実践している。

PROFILE ● さかながともひと

1981年生まれ、大阪府出身。小学生のときに野球を始め、新潟明訓高校野球部や立教大学硬式野球部で活躍。大学卒業後、旅行代理店に就職。その後、ガーナなど3カ国で野球指導に従事。2008年3月、青年海外協力隊員としてコロンビアに赴任し、少年野球チームの指導に取り組む。10年3月に帰国。JICAグアテマラ事務所の企画調査員（ボランティア事業）を経て、現在は少年硬式野球チーム「堺ビッグボーイズ」の中学部監督（所属先はNPO法人BBフューチャー＝QRコード）。



JOCV SPORTS NEWS

平和・平等・協力・健康……「スポーツが持つ力」と自身の専門性を掛け合わせ、未来をつくりあげるJICA海外協力隊経験者たちの現在の活動・仕事を紹介します。

選

手の技術的な課題について、指導者が「こう解決すべきだ」と答え

を与えるのではなく、ヒントだけを与えてチャレンジさせる——。上達に時間がかかるにもかかわらず、徹底してこうした指導方針を貫いている硬式野球チームがある。小学部と中学部を持つ大阪府の「堺ビッグボーイズ」だ。米メジャーリーグの筒香嘉智選手や日本プロ野球の森友哉選手を輩出した名門チームである。その中学部の監督を務めているのは、協力隊経験者の阪長友仁さんだ。

「これまで日本の少年野球は、『腕をこう使いなさい』といった『答え』を押し付ける指導が一般的でした。短期間で勝利を上げることが最大目標とするからです。堺ビッグボーイズもかつてはそうでした。しかし、『指導者に言われたとおりにはすればほめられる』という経験を重ねていくうちに、子どもたちは自分で考える力を失ってしまいます。野球の技術には「絶対的に正しい答え」はなく、指導者が与える答えも絶対的に正しいものではないので、自分で考える力がなければやがて上達は止まってしまいます。堺ビッグボーイズが指導方針を変えたのは、卒部した後に伸び悩みが多いことに危機感を持ったからです。自分で考える力は、野球以外の場でも重要なものです。子どもたちがせっかく好きで始めた野球によって、それを削いでしまいたくはない。削いでしまうようならば、子どもたちに野球を指導する意味はないというのが、現在の堺ビッグボーイズの考え方で

す」

選手へのリスペクト

阪長さんの経歴は異色だ。地元のチームで野球を始めた後、新潟明訓高校に進学して甲子園を経験。名門・立教大学硬式野球部では主将を務めた。大学卒業後は旅行代理店に就職。しかし野球への情熱が消えず、退職して野球の武者修行を始めた。知人の縁を頼りにスリランカ、タイ、ガーナでナショナルチームの指導に従事。その後、協力隊員としてコロンビアで県選抜チームの指導に取り組んだ。次のステップは、JICAグアテマラ事務所の企画調査員（ボランティア事業）。業務のかたわら、米メジャーリーグの選手を多く輩出している近隣のドミニカ共和国をたびたび訪れては、現地の野球指導の方法を学んだ。

武者修行で訪れた各国では、「日本の野球指導には改善できることがたくさんあるのではないか」と感じさせられる場面がたびたびあった。スリランカでは、阪長さんが自己紹介をする前に選手が近寄ってきて、「私は野球がうまくなりたい。ぜひ技術を教えてほしい」と目を輝かせて訴えてきた。自身の野球人生で「練習はつらい」と感じていた阪長さんにとって、野球への能動的な姿勢は新鮮だった。コロンビアの教え子たちは、「ぼくはこういうふうに打ったほうが良いと思う」と、自分の意見を臆せず阪長さんにつづけてきた。日本の子どもたちには見られない指導者となった。

ない「自律」の姿勢だった。各国で体験したこれらの驚きは、選手たちが自分で考えながら野球に取り組んでいることへの驚きだったと理解できたのは、ドミニカ共和国の野球指導者からこんなアドバイスをもたらしたときだ。「こうすべきだ」と選手に上から技術を押し付けてはいけません。野球の指導で大切なのは、選手をリスペクトすることだ。それによって、選手は指導者に自分の考えを率直に伝えてくれるようになり、技術に関する議論が可能になる。リスペクトとは、たとえ選手が失敗しても、そのなかにある『良い点』に気づく姿勢である。三振しても、スイングを改善しようと工夫した跡が見られたら、そのチャレンジを称える。三振しようと思っただけで打席に立つ選手はいない。選手たちの『もっとうまくなりたい』という思いや、その方法を見つけ出そうとする姿勢を後押しすることこそ、指導者の役割だ」

生まれる国は選べない

堺ビッグボーイズが指導方針の転換を決めたのは2009年。阪長さんと同様に代表者が米国の少年野球の指導者から「答えを教えるはだめだ」というアドバイスをもらったのがきっかけだった。阪長さんがドミニカ共和国の野球指導者から教えを受けたのは、その3年後だ。堺ビッグボーイズが始めていた挑戦の正しさを確信したことから、グアテマラ駐在の任期を終えるたびに、堺ビッグボー

イズの指導者となった。「自分で考える」といっても、一から選手に考えさせていたのでは、上達までに途方もない時間がかかってしまう。そこで堺ビッグボーイズが指導の基本としているのは、「方向性は指導者が示し、そこに向かうためのやり方は選手自身で考えさせる」というものだ。例えば、「右打者は右方向に、左打者は左方向に強い打球を飛ばせるようにしましょう」という方向性を指導者が示し、それができるようにするためのスイングの仕方などは選手自身で考えさせる。

阪長さんが監督を務める中学部には、堺ビッグボーイズ以外の小学生チームで軟式野球をしていた子どもが入ってくることも多い。そうした子どもは、自分で考えながら技術を磨くことに最初はとまどいが、2年生になるころにはたいてい、コロンビアの教え子たちのように自分の考えを持って野球に取り組むようになってくるという。

「協力隊のときを含め、各国に野球指導で赴くときはいつも、『日本の高い技術を教えるに行こう』という自負がありました。ところが、結局は日本の野球指導のあり方の問題に気づかされた。子どもは生まれる国を選べません。日本で生まれたばかりに、野球の技術や、考えて行動する能力が伸びなくなってしまう状況にはしたくない。そのため、私自身が学んだことを広く野球界やスポーツ界に広げる活動にも取り組んでいます。それを今後も続けていきたいと考えています」

つぶやき

お題 ▶ 目覚め



イラスト=牧野良幸



今月の1枚

夜明け前

アラブ人の朝は早い。夜明け前、モスクから流れる朗々とした男性の声が街中に響き渡る。その日最初の礼拝をムスリムたちに呼びかけるアザーンだ。彼らにとって1日5回の礼拝は義務であり、暮らしの一部である。しかし、よそからやって来た者にとっても、夜明け前のアザーンはやがて日常の目覚ましとなる。帰国後、日本の静かな朝に心なしか違和感を覚えたのは、かの地に身を置いていた証拠だろう。

ペンネーム：Marzouq さん（中東・青少年活動・2018年度派遣）

★ 遅くはない

着任直後、加算もできない中学生にどう対応したものか悩んだ。ある日、子どものころに百マス計算の競争で強い意欲が湧いたのを思い出した。そこで授業に算数大会を導入。「速さ」「正確さ」「解き方を見つける発想力」などさまざま部門で順位を付けることにしたところ、成績が下の子も懸命に取り組み、以後の弾みとなった。目覚めに遅すぎるということはないのだと実感した。

ペンネーム：マスマスター さん
（アフリカ・数学教育・2018年度派遣）

★★ 二度寝

新型コロナウイルスの流行こそ、社会のあり方に対して目を覚まされた出来事だった。制御不能な「外部条件」への具体的な意識の目覚め。そうしたものが起これば、常識的な目算の如きは容易に粉碎される。しかし、そんな意識もほどなく薄らぎ、近々「二度寝」に沈んで惰眠をむさぼってしまいそうな気配。慣れの恐ろしさを肝に命じなければと、懸命に自戒する昨今だ。

ペンネーム：オランウータンB さん
（アジア・コミュニティ開発・2018年度派遣）

★★★ 「笑顔」の威力

巡回先の学校で授業が予定されていた日、到着するといつも笑顔の先生が激昂していた。事前調整の不備で、生徒がみな帰宅してしまった後だった。ひたすら謝るも、聞く耳を持ってくれない。そこに遅れてやって来た同僚の視学官に状況を話すと、初歩的なミスに大爆笑。すると、激昂していた先生もつられて笑い始めた。コミュニケーションでの「笑顔」の威力に目覚めた経験だった。

ペンネーム：TTPあまて さん
（中南米・環境教育・2018年度派遣）

募集中のお題

「誕生日」「身だしなみ」

投稿は『クロスロード』編集室まで
（P35をご覧ください）

あなたのつぶやきが
イラストになるかも!?

JICA海外協力隊の2021年春募集を実施



JICA海外協力隊(長期派遣)の2021年春募集を2021年5月20日～6月30日で実施します。詳細についてはJICA海外協力隊のウェブサイト(QRコード)でご確認ください。募集要項は5月10日に公開する予定です。

JICA海外協力隊は2020年11月に渡航を再開しましたが、新型コロナウイルスは依然として世界的に厳しい感染状況が続いています。コロナ禍における派遣再開においては、現地の

人々と共に生活しながら活動するという理念の下、派遣国の状況を踏まえ、現地における隊員活動ができると確認されたところから渡航再開しています。



東日本大震災10周年シンポジウムを開催

2021年3月8日に東日本大震災10周年シンポジウム「地域のレジリエンスに貢献する青年海外協力隊の経験」(主催・日本も元気にする青年海外協力隊OB会、後援・JICA)がオンラインで開催されました。東日本大震災の被災地などで、コミュニティ形成などを通じて地域のレジリエンス(回復)に貢献してきた協力隊経験者の活動を紹介しながら、主体的な地域の動きをつくることの重要性やそのために必要とされる支援のあり方などについて考えるもので、東北大学法学部の岡部恭宜教授による基調講演に続けて、協力隊経験者たちによるパネルディスカッションが行われました。シンポジウムを記録した動画はYouTube(QRコード)にアップロードされています。ぜひご覧ください。



動画はYouTube(QRコード)にアップロードされています。ぜひご覧ください。



JICA海外協力隊に関する説明会やイベントを随時開催

JICAでは、JICA海外協力隊について知っていただくことを目的とするオンライン説明会や会場型説明会、オンラインでの座談会や個別相談会などのイベントを随時開催しています。説明会では、現地での生活や帰国後の就職について協力隊経験者に直接相談することができるほか、コロナ禍における活動や今後の動向などについても説明します。詳細はJICA海外協力隊のウェブサイト(QRコード)でご確認ください。



パプリカダンスの動画が公開

米津玄師さんが作詞・作曲した『パプリカ』に振り付けた「パプリカダンス」。これを踊る動画をさまざまな人から集め、未来に向けてがんばっているすべての人を応援するNHKとJICAの共同プロジェクトでは、コロナ禍の中、JICA海外協力隊員や隊員OVの皆さんにも任地の人たちが踊る動画の制作にご協力いただきました。協力隊員がかかわったものを含め、JICAの在外拠点で投稿した動画は25カ国35本に上り、NHKのウェブサイト(QRコード)にアップロードされています。ぜひご覧ください。



クロスロード

令和3年5月号 [第57巻第4号 通巻666号]
発行日 令和3年5月1日

編集・発行：
独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1
竹橋合同ビル

『クロスロード』はJICA海外協力隊のウェブサイトでも公開しています。



ご意見・ご感想をお聞かせください。アイデアも大募集!

今月号をお読みになり、どのようにお感じになりましたか? ご意見・ご感想をお寄せください。また、今後取り上げてほしい企画のアイデアや、ご紹介いただける情報がございましたら、ぜひお知らせください。

以下のようなアイデア・投稿を募集中です

- 派遣国での活動・生活の“失敗談”をお寄せください。
- 派遣国での活動・生活に役立つ“ちょっとした技”をお持ちでしたら、ご紹介ください。
- P34に記載している「お題」で、派遣国での活動・生活のひとコマをつぶやいてみませんか。
- 日本でもつくりことができる派遣国の料理のレシピをお寄せください。



一般社団法人協力隊を育てる会『クロスロード』編集室
crossroads@sojocv.or.jp



隊員めし

おかわり!

日本でつくる現地の「めし」は活力の源



スパイスを効かせたジャークチキンは蒸し暑い地域に打って付けの味であり、中米の国々の人気料理です。私の派遣国のドミニカでは、夕方になるとあちらこちらからバーベキューでジャークチキンを焼く香りが漂ってきて、食欲がそそられました。ビールかスプライトをお供にかぶりつのが一般的。活動で良いことがあった日も、うまくいかないことがあった日も、同僚と一緒にジャークチキンで反省会をするのが、私の協力隊時代の日課でした。



ジャークチキンを焼くドミニカの露店



今月の料理人

せんただかひろ
千田崇裕さん

(ドミニカ・料理・2009年度2次隊)

●活動内容：ドミニカ地域開発・文化・ジェンダー問題・情報省の成人教育局に配属され、コミュニティでの料理教室開催に従事。

ドミニカのソウルフード 「ジャークチキン」

材料(3人分)

鶏手羽肉か鶏もも肉…600g
玉ねぎ…1/2個
おろししょうが…小さじ1
おろしんにんじく…小さじ1
レモン汁…大さじ1~2
オリーブオイル…大さじ1
オレンジジュース…大さじ2~3
塩…小さじ2
オールスパイス…大さじ2
ブラックペッパー…小さじ1
クミン・シナモン・タイムのいずれか…大さじ1ほど
唐辛子かチリパウダー…大さじ1ほど(お好みで)

A

つくり方

- 1 鶏肉は、手羽ならフォークで5~6カ所ほど刺しておき、ももなら4センチ四方ほどの大きさにカットする。
- 2 玉ねぎをすりおろす。

- 3 密閉できる袋か容器に①・②・Aを入れ、お好みで唐辛子かチリパウダーを加えてしっかり揉み込む。
- 4 そのまま密閉し、半日からひと晩、冷蔵庫に入れて味を馴染ませる。
- 5 200度に熱したオーブンで20分ほど焼き上げる(可能ならばバーベキューでこんがり焼き上げる)。

ひとくちメモ

スパイスやハーブは日本のスーパーで売られているもので構いませんが、自宅の庭でハーブを育てているという方は、タイムのほかにそれらを使うとより中米っぽい味になるはずです。少量の醤油やカレー粉を加えるだけで味が変わるので、好みの味にカスタマイズしてみるのもおすすめです。私が活動の一環として開いた料理教室では、醤油を加えて日本風の味にアレンジしたレシピが人気でした。また、現地では当時、ケチャップを加えたソースで付け焼きするのが流行っていました。



今月号の表紙 フィリピン



きたむらなつこ
文=北村名都子さん

(防災・災害対策・2018年度1次隊)

私は町役場に配属され、消防や救急に関する技術の指導などに取り組みました。写真は、配属先の同僚やフィリピン消防局の職員と共に、日本から寄贈された消防車で揚水や放水の訓練を行っている様子です。日本では消火栓や水槽を水源として使いますが、任地は川がメインの水源でした。同僚たちは、フィリピンのものとは仕様が異なる車両に手こずりながらも、何度も訓練を重ねるうちに、彼らだけでこの消防車を扱えるようになりました。

※北村さんの活動の詳細は6~7ページで紹介しています。